

FMV

BIBLO

B6FH-0711-02

MG70G/ST, MG75G, MG70G, MG50G,
MG70GN, MG50GN

1

番目に読む本

パソコンの準備

パソコンの電源を入れる前にお読みください。
接続方法や、必要な準備について説明します。

- 1 各部名称
- 2 始める前に
- 3 パソコンを準備する
- 4 接続/設定する
- 5 仕様

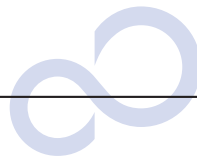
FUJITSU

表紙をめくるとマニュアルの
読み方があります。



マニュアルの読み方

～知りたいことを調べるには～



本で調べる



『パソコンの準備』

パソコンの接続やWindowsのセットアップなど、パソコンを使い始める前に必要な準備について書かれています。



『使いはじめガイド』

FMVを使うための基礎知識やユーザー登録の方法、インターネットやEメールの始め方などがわかります。



『トラブル解決ガイド』

電源が入らないなど、画面では調べられないトラブルの原因・対処がわかります。リカバリ方法も説明しています。



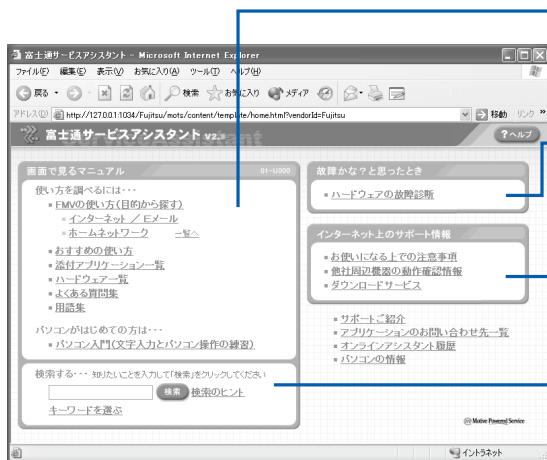
『基本操作クイックシート』

パソコンの基本的な操作方法がまとめてある早見表です。お手元に置いてご覧ください。

画面で調べる



『サービスアシスタント』



画面で見るマニュアル

▶▶ 見かたは『使いはじめガイド』をご覧ください。パソコン入門やアプリケーションの使い方、周辺機器の取り付けなどが調べられます。

故障かな?と思ったとき

「ハードウェアの故障診断」をクリックすると、故障かどうかのチェックが行われ、解決のためのアドバイスが表示されます。

インターネット上のサポート情報

項目をクリックするとインターネットに接続し、各サポート情報が表示されます。

検索

知りたいことがどこに載っているかわからない、というときはここで検索しましょう。用意されたキーワードを利用することもできます。

●起動方法

DESKPOWERの場合

キーボードの「サポート」(または「Support」)ボタンを押す

BIBLO NB、RS、MGシリーズの場合

ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す

BIBLO NH、LOOXシリーズの場合

画面にある  をクリック

※「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしても起動できます。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第2章 パソコンを使い始める前に (●▶P.25)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第3章 電源を入れてパソコンの準備をする

1 初めて電源を入れる (●▶P.32)

目的に合わせてお読みください

- メモリなどの周辺機器を取り付けたい (●▶P.66)
- テレビを見たい (MG70G/ST の場合) (●▶P.74)
- 仕様を確認したい (●▶P.82)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスク、CD-Rなどに複製して、保管しておいてください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 1. 本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- 2. バックアップ**
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 4. 複製**
 - (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。
- 5. 第三者への譲渡**
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 6. 改造等**
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 7. 壁紙の使用条件**
お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 8. 保証の範囲**
 - (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
 - (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- 9. ハイセイフティ**
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。




ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。




このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険があることを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。







	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント (マニュアル&サポート)」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	
Microsoft® Office Personal Edition 2003	Office Personal 2003	
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法	
DVD マルチドライブ、CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ	
富士通サービスアシスタント V2.3	サービスアシスタント	
Norton Internet Security™ 2004	Norton Internet Security	

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。インテル、Intel、Pentium、Celeron および Centrino は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Motive のロゴ、Motive Communications, Inc., ServiceNet Platform および Motive の他の製品名あるいは技術用語は Motive Communications, Inc. の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。
- なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、スピーカなど）が含まれており、長時間連続で画面を表示させたり動作させたりした場合、早期の部品交換が必要になります。

本製品の使用環境は、温度5～35℃/湿度20～80%RH（動作時）、温度-10～60℃/湿度20～80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE 802.11g 準拠）の場合

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE 802.11g 準拠）の場合

- ・パソコン本体と通信相手の機器との通信距離は、見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造や材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度が低下したり通信不能となる場合もあります。
- ・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上あけてお使いください。
- ・本製品と IEEE 802.11a 準拠の機器とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。

本製品にテレビを接続する場合は、適度な明るさの部屋で、できるだけテレビ画面から離れてご覧ください。
ごくまれに強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方が
おります。こうした症状を経験したことがある方は、テレビ画面をご覧になる前に、必ず医師にご相談ください。また、テレビ画面を見
ている途中でこのような症状が起きた場合は、すぐに中止して医師の診断を受けてください。

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する
基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護さ
れている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーショ
ンの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止
されています。

ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、AC-3 およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品における MPEG-4 ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG-4 ビジュアル規格特許ライセンスを管理する MPEG LA LLC から弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供してい
るものです。MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した態様で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許
可されています。上記以外の使用については許可されておりません。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水
銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

安全上のご注意

FMV-BIBLO、FMV-BIBLO LOOX を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱いってください。

パソコン本体の操作に関する注意事項

- ・電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボード、マウス、ポインティングデバイスやリモコンに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- ・BIOS セットアップは、必要な場合以外はむやみに設定を変更しないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- ・パスワードを設定する場合は、パスワードを書き留めて、安全な場所に保管してください。パスワードを忘れると、本製品は使用できなくなり、修理が必要となります。
- ・添付の各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

やさしく扱ってください



・電源が入った状態で持ち運ばないでください。



・自転車やバイクなどに載せて持ち運ばないでください。



・持ち運ぶ場合は、鞆などに入れ、衝撃や振動を与えないでください。



・重い物をのせないでください。



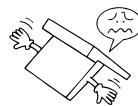
・パソコン本体や AC アダプタを投げたり、落下させないでください。



・コーヒーなどの液体や、クリップなどの金属が入らないよう注意してください。



・ディスプレイを無理に大きく開けないでください。



・ディスプレイを開けたまま、裏返して置かないでください。



・パソコン本体を立てて置かないでください。バランスが崩れて倒れるおそれがあります。



・ディスプレイの枠を持って、パソコン本体を持ち上げないでください。



・ディスプレイをたいたり強く押ししたりしないでください。



・AC アダプタの抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。



・コードを継ぎ足すなどの加工はしないでください。



・コードを無理に折ったり引っ張ったりしないでください。



・分解しないでください。



・必ず一般の電源（100V）をお使いください。
・濡れた手で AC アダプタを扱わないでください。感電のおそれがあり、大変危険です。



・フロッピーディスクのラベルは重ねて貼らないでください。また、しっかりと貼ってからセットしてください。

万一、異常が発生したとき



- ・ 万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、その後必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

煙が消えるのを確認して「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・ 異物（金属片・液体など）がパソコン本体の内部に入った場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・ 本製品を落としたり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本体・周辺機器の取り扱いについて



- 事故 ・ 自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに止めてからお使いください。



- 感電 ・ ACアダプタは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。



- 感電 ・ 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



- 感電 ・ ACアダプタやコネクタの金属部分に手を触れないでください。感電の原因となります。



- 発火 ・ ACアダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。



- 感電 ・ ACアダプタの電源ケーブルが傷んだときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- 感電 ・ ACアダプタの電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。



- ・本製品をお客様ご自身で分解・改造しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・液晶ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態では、本製品を使用しないでください。故障の修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・パソコン本体の各スロットやカバーは、バッテリー交換や周辺機器の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。
内部の点検、修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



- ・台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所で本製品を使用しないでください。感電・火災の原因となります。



- ・風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で本製品を使用しないでください。感電・火災の原因となります。



- ・本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器や、「クリップ・ピン」などの金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・開口部（各スロットなど）からパソコン本体内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



- ・近くで雷が起きたときは、パソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、その後 AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、モジュラーケーブルを電話回線の差し込み口から抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては本製品を破壊し、感電・火災の原因となります。

また、安全のため避雷器の設置をお勧めします。
ただし、避雷器の許容値を越えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても装置を保護できないことがありますので、ご了承ください。



- ・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。



- ・周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をお使いください。
弊社純正品以外の機器を使用すると、感電、火災または故障の原因となります。



- ・バッテリーの交換などで、バッテリーパックの取り付けや取り外しを行う場合は、誤って落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。また、安全を考慮し、強い衝撃を与えたバッテリーパックは使用しないでください。
感電や火災、破裂の原因となります。



注意



・ AC アダプタを使用する場合は、指定外の AC アダプタは使用しないでください。
火災・けがの原因となることがあります。



・ AC アダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。



・ AC アダプタの電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源
プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、
感電・火災の原因となることがあります。



・ 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



・ 本製品の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



・ 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しない
でください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、パソコン本体
内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



・ 排気孔などをふさがないでください。
排気孔などをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



・ 使用中のパソコン本体や AC アダプタなどは、布などでおったり、包んだりし
ないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。



・ 本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜い
てください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意
して行ってください。
AC アダプタの電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落
下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。








・ 本製品を長期間使用しないときは、安全のため必ず AC アダプタをコンセントお
よび本製品から抜いてください。バッテリーパックを取り外せる機種では、バッテ
リパックも取り外してください。感電・火災の原因となることがあります。



・ 液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流
水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗
浄したあと、医師に相談してください。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。










・ フロッピーディスクまたはスーパーディスクをセットするとき、および取り出す
ときには、ドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

- 
 けが
 - ・ CD または DVD をセットするとき、および取り出すときには、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 
 けが
 - ・ PC カードをセットするとき、および取り出すときには、PC カードスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 
 高温
 - ・ PC カードの使用終了直後は、PC カードが高温になっていることがあります。PC カードを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。
- 
 けが
 - ・ バッテリーはショートさせたり、加熱したり、分解したり、落下などで衝撃を与えたり、火や水の中に入れてたりしないでください。
バッテリーの破裂、液もれにより、火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。
- 
 けが
 - ・ 本製品を長期間使用しない場合には、バッテリーパックを取り外しておいてください。バッテリーから液がもれることがあります。もし、バッテリーから液がもれた場合は、バッテリー取付け部に付いた液をよく拭き取ってから、新しいバッテリーパックを取り付けてください。また、もれた液が皮膚についたときは、水でよく洗い流してください。
火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。

無線通信機能内蔵パソコンの取り扱いについて



- 
 事故
 - ・ 病院内や医用電気機器のある場所では無線通信機能を OFF にしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。無線通信機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 
 ペースメーカー誤作動
 - ・ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 
 ペースメーカー誤作動
 - ・ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能を OFF にしてください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 
 事故
 - ・ 航空機内では無線通信機能を OFF にしてください。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
- 
 事故
 - ・ 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。無線通信機能からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 
 感電
 - ・ 絶対に分解や修理・改造をしないでください。内部に触ると感電の原因になります。
- 
 爆発
 - ・ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では無線通信機能を OFF にしてください。
爆発や火災の原因になります。

その他



警告



窒息

- ・ 梱包に使用しているビニール袋はお子様がお口にいたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。



誤飲

- ・ 電池を取り外した場合は、小さなお子様で電池を誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注意



腰痛・腱鞘炎

- ・ 本製品を無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となることがあります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1時間に10分以上休憩をとってください。

いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。

いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。

ひじは90度以上に伸ばして操作する。



目の障害

- ・ 液晶ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。1時間に10分以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。



聴力障害

- ・ ヘッドホンなどをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



聴力障害

- ・ ヘッドホンなどをしたまま電源スイッチ（主電源スイッチなど）を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



破裂

- ・ 本製品またはバッテリーパックを廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。

本製品はリチウム電池を、またバッテリーパックはリチウムイオン電池またはニッケル水素電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。



故障

- ・ 本製品の操作に必要な力以外の箇所を押したり、本製品に必要な以上の力を加えたりしないでください。誤動作の原因となることがあります。



発火

- ・ 本装置は連続動作（24時間動作）を目的に設計されておりません。安全のため、ご使用にならないときは電源を切ってください。火災の原因となることがあります。

乾電池について



危険

指 示



- ・電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。



警告

発 火



- ・乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- ・乾電池を入れる場合、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



注意

故 障



- ・長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。万一液漏れした場合は、水に浸した布を硬く絞って金具、周囲を清掃し、その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・電池から漏れた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。また目や口に入ったときは、水でよく洗い流した後、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・電池ボックスの端子をショートさせないでください。

破 裂



- ・この電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

感 電



- ・電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

故 障



- ・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

- ・寿命がなくなった乾電池はすぐに取り出してください。放置すると、腐食により装置を傷めることがあります。
- ・ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！



(サービスアシスタント)のトップ画面 →

検索

キーワードを選ぶ

目次

このマニュアルの表記について	3
安全上のご注意	7

第1章 各部名称

1 パソコン本体前面	18
2 パソコン本体上面	19
3 パソコン本体側面	20
パソコン本体左側面	20
パソコン本体右側面	20
4 パソコン本体背面	21
5 パソコン本体下面	22
6 状態表示 LCD	23
7 ワンタッチボタン	24

第2章 パソコンを使い始める前に

1 確認してください	26
機種名を確認してください	26
添付品がすべて揃っているか確認してください	26
2 使用上のお願い	27
パソコン本体取り扱い上の注意	27
放熱について	27
パソコンを持ち運ぶときは	28
使用および設置に適さない場所	28
3 必要なものを揃える	29

第3章 電源を入れてパソコンの準備をする

1 初めて電源を入れる	32
ACアダプタを接続する	32
初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ	34
2 電源の切り方と入れ方	56
電源を切る	56
電源を入れる	60
3 準備が完了したら	62
パソコンの準備はすべて完了していますか？	62
パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ	63
ファミリーネットワークステーション-Tをお使いになる場合 (MG70G/STのみ)	64
ワイヤレスLANをお使いになる場合	64

第4章 目的に合わせて接続／設定する

1 周辺機器（メモリなど）を取り付ける	66
取り扱い上の注意	66
「FMVの使い方」をご覧ください	67
2 モジュラーケーブルを接続する	70
確認する	70
必要なものを用意する	70

接続する	71
3 MyMedia を使う	73
他のパソコンにファイルを公開する	73
公開する音楽、画像、動画ファイルを設定する	73
4 テレビを見る準備をする (MG70G/ST の場合)	74
準備の流れ	74
必要なものを用意する	75
リモコンを準備する	76
リモコンをお使いになる場合の注意	78
アンテナケーブルを接続する	79
チャンネルを設定する	79
テレビを見るときに注意	79
第5章 付 録	
1 仕様一覧	82
パソコン本体	82
仕様一覧の注記について	90
リモコン	91
索引	92

1

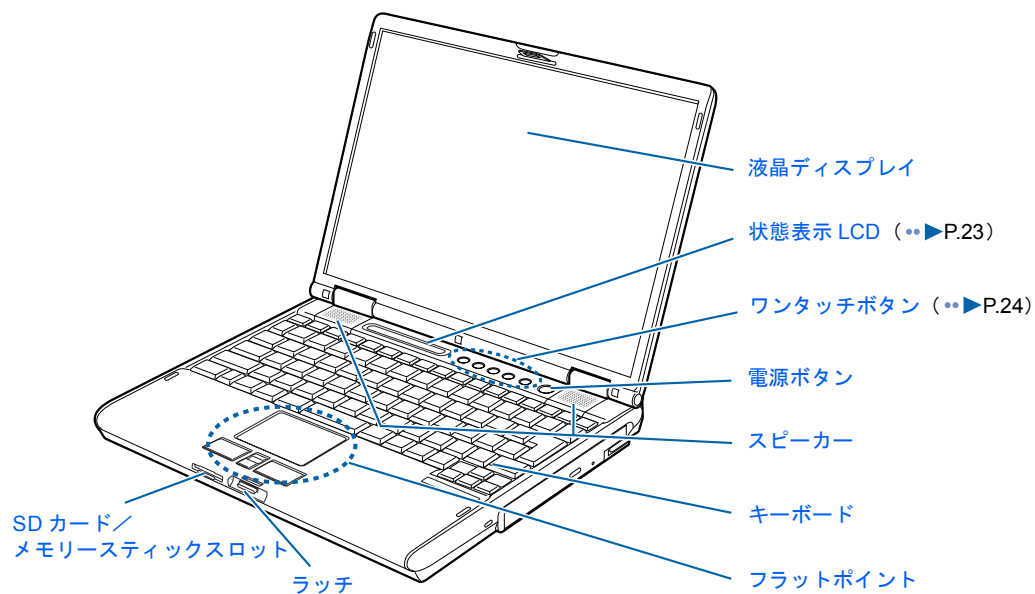
第 1 章 各部名称


パソコンの各部の名称について説明しています。

1	パソコン本体前面	18
2	パソコン本体上面	19
3	パソコン本体側面	20
4	パソコン本体背面	21
5	パソコン本体下面	22
6	状態表示 LCD	23
7	ワンタッチボタン	24

1 パソコン本体前面

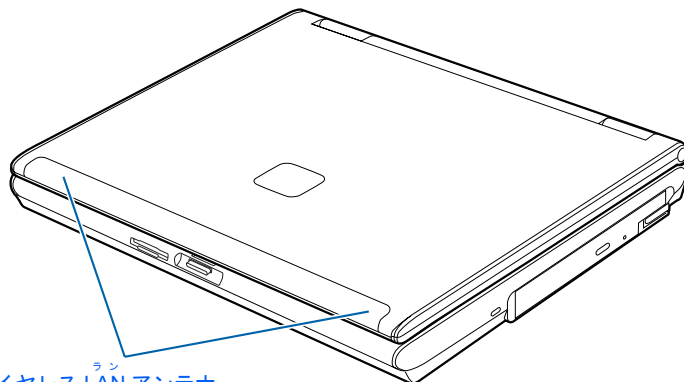
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.26)をご覧ください。




詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windowsのセットアップ(●▶P.34～P.55)が終了してからご利用ください。

2 パソコン本体上面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.26)をご覧ください。



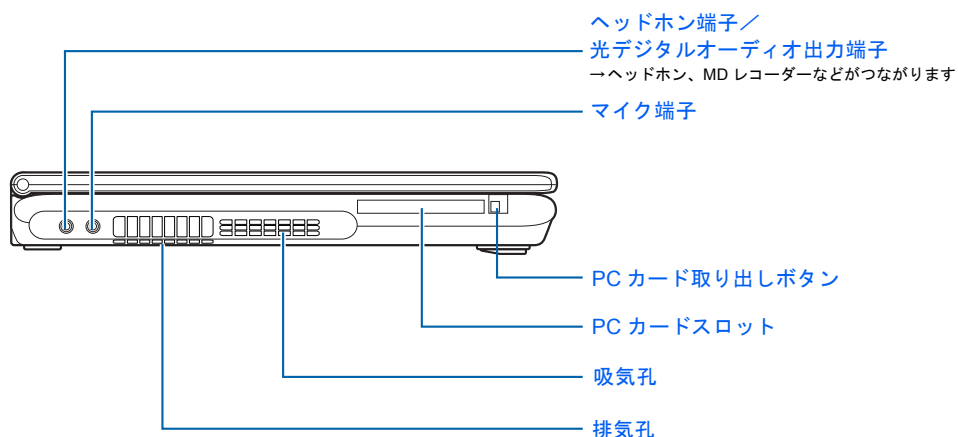
内蔵ワイヤレス LAN アンテナ
(MG70G/ST, MG75G, MG70G, MG70GN のみ)

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.34 ~ P.55) が終了してからご利用ください。

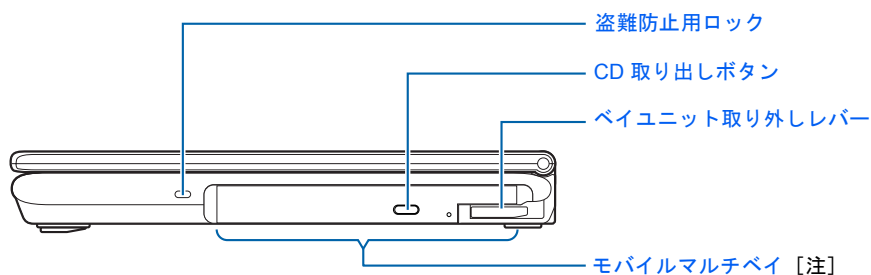
3 パソコン本体側面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.26)をご覧ください。


パソコン本体左側面



パソコン本体右側面

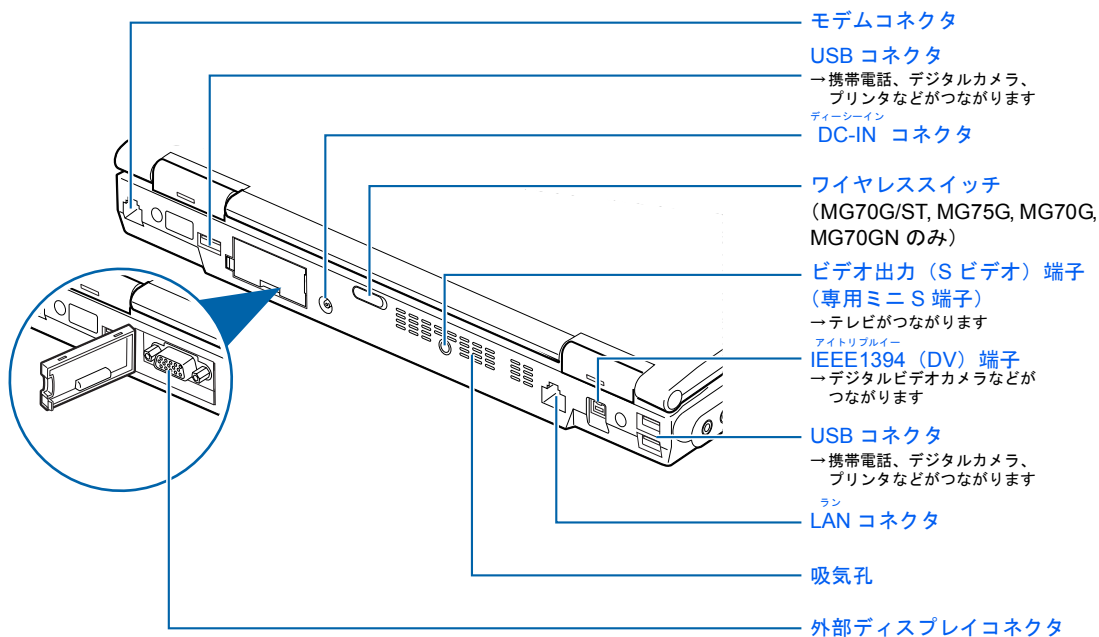


注：イラストは機種や状況により異なります。
MG70G/ST, MG75G, MG70G をお使いの方は、内蔵 DVD マルチドライブになります。
MG50G をお使いの方は、内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブになります。
MG70GN, MG50GN をお使いの方は、選択したドライブにより、次のいずれかになります。
・内蔵 DVD マルチドライブ
・内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブ


詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.34 ~ P.55) が終了してからご利用ください。

4 パソコン本体背面

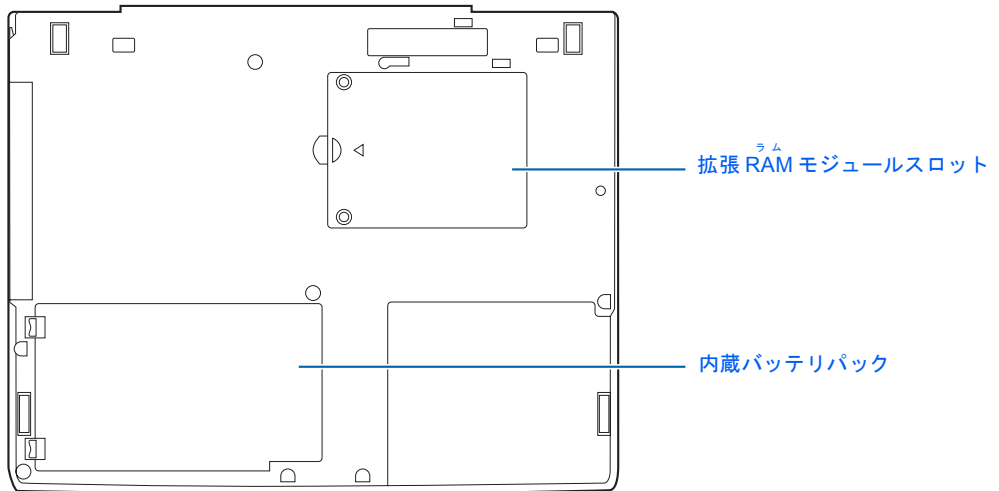
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.26)をご覧ください。




(イラストは機種や状況により異なります)

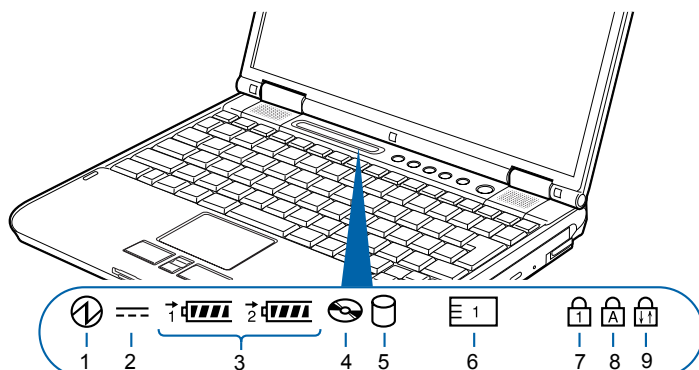
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.34 ~ P.55) が終了してからご利用ください。

5 パソコン本体下面




詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.34 ~ P.55) が終了してからご利用ください。

6 状態表示 LCD

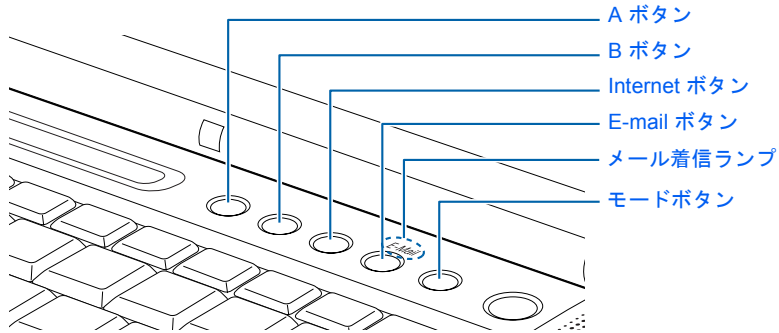


(イラストは機種や状況により異なります)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 電源表示 (⏻) | 6 PC カードアクセス表示 (☒) |
| 2 AC アダプタ表示 (⏻) | <small>ニューメリカルロック</small> |
| 3 バッテリ表示 (🔋、🔋) | 7 Num Lock 表示 (⌨) |
| • バッテリ装着表示 (1🔋、2🔋) | <small>キャップスロック</small> |
| • バッテリ充電表示 (🔋) | 8 Caps Lock 表示 (⌨) |
| • バッテリ残量表示 (🔋) | <small>スクロールロック</small> |
| 4 CD アクセス表示 (📀) | 9 Scroll Lock 表示 (⌨) |
| 5 ハードディスクアクセス表示 (💾) | |

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：状態表示 LCD」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (▶▶P.34 ~ P.55) が終了してからご利用ください。

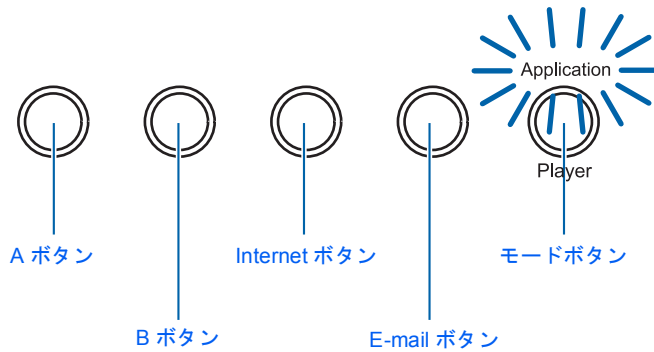
7 ワンタッチボタン



ワンタッチボタンの機能は、モードの状態によって次のように切り替わります。

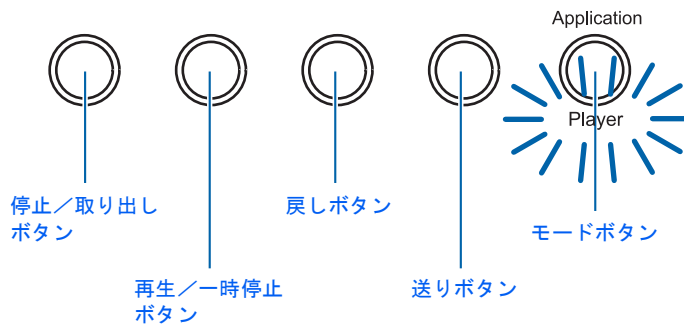
アプリケーション


Application が点灯しているとき（「Application」モード）



プレーヤー

Player が点灯しているとき（「Player」モード）



詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「ワンタッチボタンを使う」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windowsのセットアップ（▶P.34～P.55）が終了してからご利用ください。

2

第 2 章

パソコンを使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

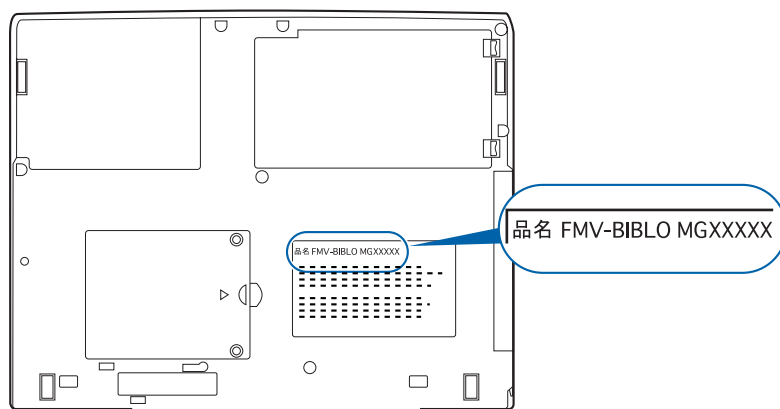
1 確認してください	26
2 使用上のお願い	27
3 必要なものを揃える	29

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。

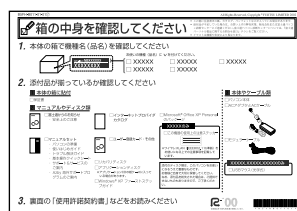


《下面》

添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧ください、添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



(機種により若干異なります)

2 使用上のお願い

誤動作や故障を防ぐため、以下のことにご注意ください。

2

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・ 衝撃や振動を与えないでください。
- ・ 分解しないでください。
- ・ 電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態を持ち運ばないでください。
- ・ 長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じる場合があります。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温くなるためです。故障ではありません。
- ・ ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用条件によっては、パソコンの底面が高温になる場合があります。
- ・ 吸気孔（●▶P.20、P.21）、排気孔（●▶P.20）はふさがらないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- ・ 排気孔（●▶P.20）の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- ・ 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近付けないでください。保存しているデータが消えてしまう恐れがあります。
- ・ ワイヤレス LAN 機能を搭載している機種の場合
ワイヤレス LAN 機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、ワイヤレス LAN 機能を停止してください。
病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

放熱について

- ・ 電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- ・ 電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイしない設定にした場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となります（ご購入時の設定では、電源が入っているときに閉じてもかまいません）。

パソコンを持ち運ぶときは

パソコンを持ち運ぶ場合は、次のようにしてください。

- ・パソコンの電源を切ってください。
- ・接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブルや本体のコネクタを破損する恐れがあります。
- ・パソコン本体にPCカードをセットしている場合は、必ずPCカードを取り外してください。PCカードを取り付けたまま持ち運ぶとパソコンやPCカードを破損する恐れがあります。
- ・液晶ディスプレイを閉じてください。
- ・パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、パソコン本体背面を下側に、ラッチを上側にして、かばんに入れてください。

使用および設置に適さない場所

- ・極端に高温または低温になる場所
- ・結露する場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するものの近く
- ・ほこりの多い場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・湿度の高い場所
- ・安定の悪い場所
- ・発熱器具の近くや、腐食性のガスなどが発生する場所

POINT

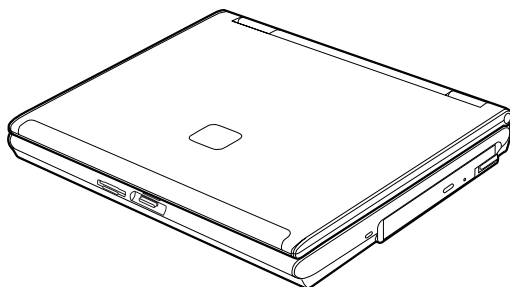
- ・本製品の使用環境は、温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (非動作時) です。
- ・結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

3 必要なものを揃える

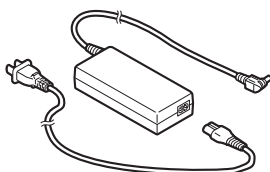
2

必要なものをあらかじめ揃えてから、第3章へ進みましょう。

■パソコン本体



■ACアダプタとACケーブル



■保証書



梱包箱に貼り付けられています。

続いて、電源を入れてパソコンの準備をしましょう (●▶P.32)。

Memo

3

第 3 章

電源を入れてパソコンの準備をする

初めてパソコンの電源を入れるとき最初に行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1	初めて電源を入れる	32
2	電源の切り方と入れ方	56
3	準備が完了したら	62

1 初めて電源を入れる

AC アダプタを接続する

AC アダプタは、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。



警告



感電

・近くで雷が起きたときは、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、パソコンを破壊し、火災の原因となります。



注意



故障


・AC アダプタは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。



重要

セットアップ前には、LAN ケーブルやターミナルアダプタ (TA) を接続しないでください

LAN ケーブル、ターミナルアダプタ (TA) などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。

LAN ケーブルの接続方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「基本機能」 → 「LAN を使う」をご覧ください。

セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧ください。



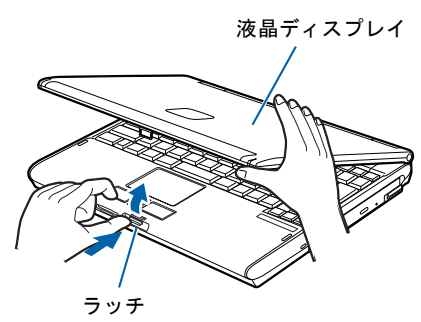
POINT

AC アダプタは熱くなる場合があります


パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

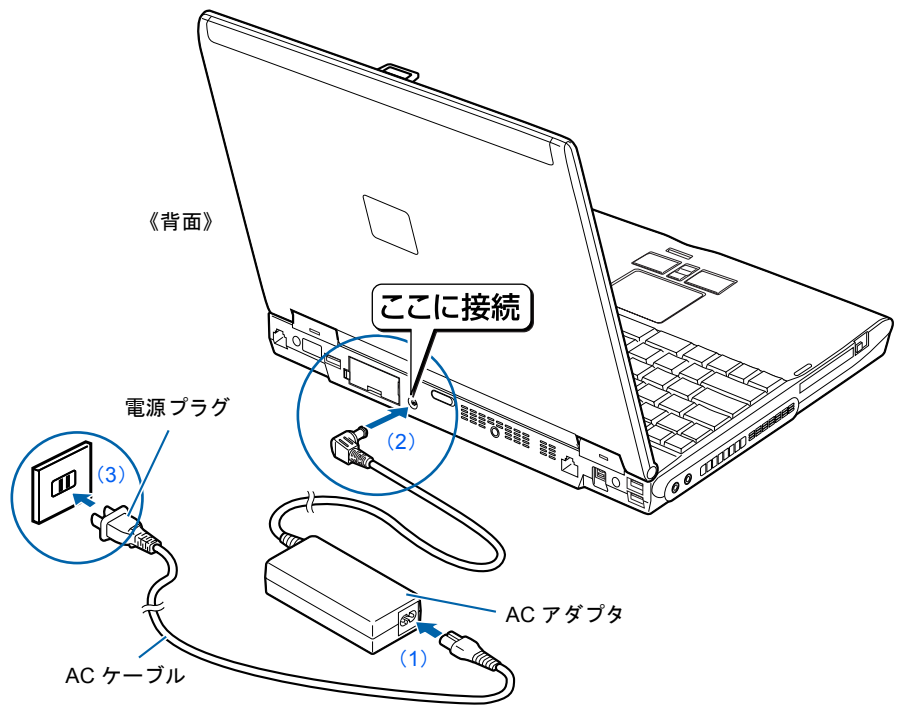
1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。



2 ACアダプタを取り付けます。

ACアダプタにACケーブルを接続し (1)、パソコン本体のDC-IN コネクタに接続します (2)。その後、電源プラグをコンセントに接続します (3)。正しく接続すると、状態表示LCDにが表示されます。




初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ

初めて電源を入れるときは、**Windows のセットアップ**という作業が必要です。Windows のセットアップとは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。






セットアップ時の注意事項

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップの途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切ってWindows が使えなくなった場合は、『トラブル解決ガイド』→「Q&A 集」→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。





しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 15 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの     や **(Shift)** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。それでも戻らない場合は、電源ボタン（▶P.18）を押してください（4 秒以上押し続けしないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

Windows のセットアップを始めましょう。

「Windows のセットアップ」とは、次の 4 つの作業のことです。合計 39 手順あります。

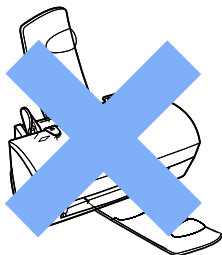
- 1 「Windows の設定」▶手順 1 ～ 12
- 2 「必ず実行してください」の実行▶手順 13 ～ 21
- 3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」▶手順 22 ～ 27
- 4 「所在地情報の設定」▶手順 28 ～ 39

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

Windows の設定

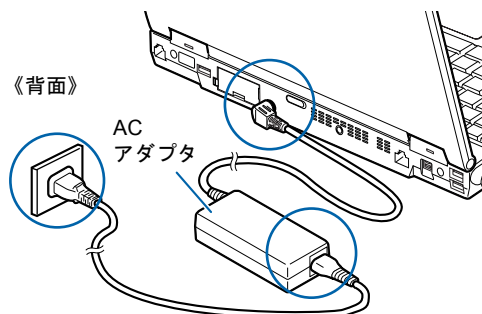
1 AC アダプタ以外に何も接続されていないことを、確認します。

このマニュアルで説明していない添付品や、その他の機器が接続されていると、セットアップの途中でパソコンが動かなくなることがあります。



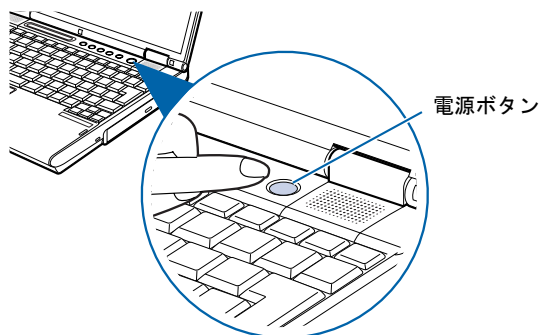
2 AC アダプタがきちんと接続されているか、確認します。

念のため、AC アダプタをもう一度お確かめください。



3 電源を入れます。

電源ボタンを押します。



重要

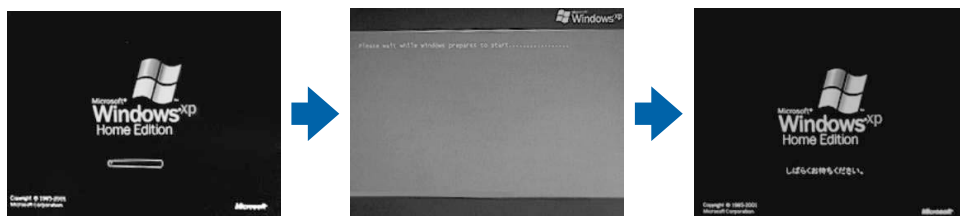
電源ボタンは 4 秒以上押さないでください

電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

電源を切らずに次のページへ

4 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



注：画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

パソコンが再起動します。


この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

手順 5 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

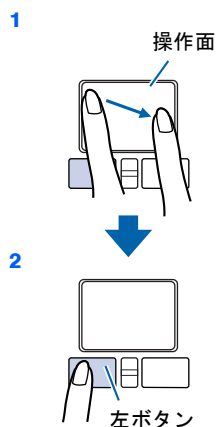
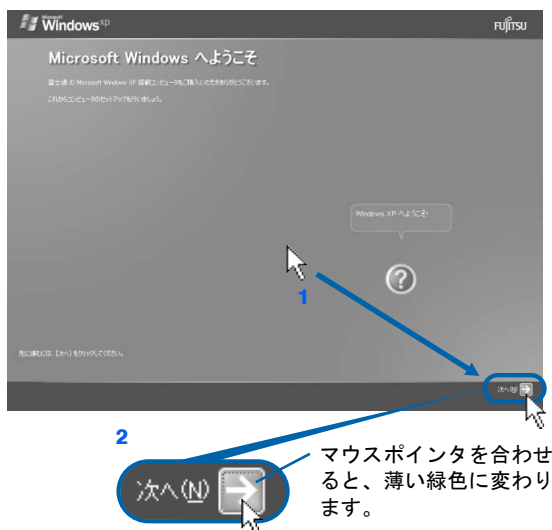
途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『トラブル解決ガイド』→「Q&A 集」→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

5 1 画面上の を「次へ」の右の に合わせ、2 フラットポイントの左ボタンを軽くカチッと 1 回押して、すぐ離します。

指先で、フラットポイントの操作面をなぞると、指の動きに合わせて、 (マウスポインタ) が画面の上を動きます。

2 の操作のことを、「クリック」といいます。



POINT**これ以降は機種により画面が異なる場合があります**

このマニュアルと違う画面が表示された場合は、画面の指示に従い、手順 12 まで進めてください。

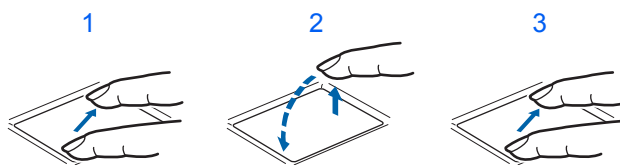
キーボードやフラットポイントで操作できない場合

キーボードやフラットポイントが効かなくなった場合は、「使用上のお願い」(▶▶P.27) をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. 本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。
2. 10 秒以上たってから、電源ボタンを押して電源を入れます。

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。



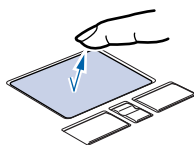
指を離している間はマウスポインタは動きません。

ボタンは軽く押すだけで OK!

フラットポイントのボタンは力を入れて押す必要はありません。カチッと 1 回押したら、すぐ指を離すようにします。

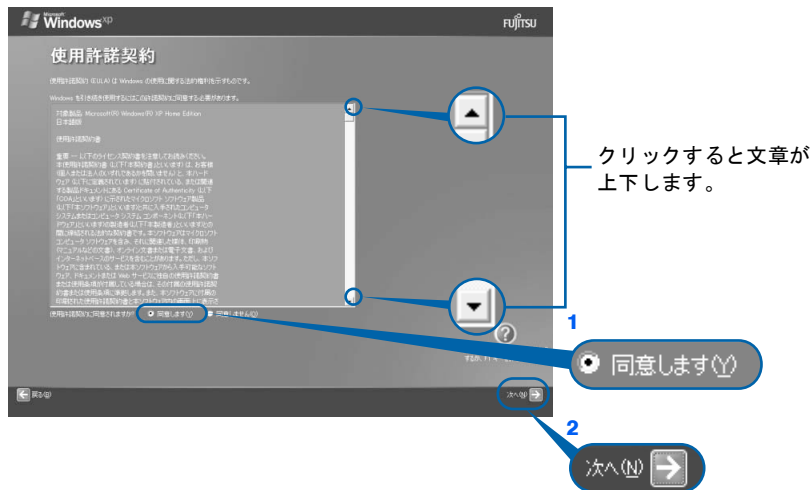
操作面を軽くたたいても、クリックになります

フラットポイントは、操作面を軽くたたいてもクリックができます。操作面に指をのせるときに、間違ってクリックしないように注意してください。

**うまくクリックできない場合**

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、マウスの位置がずれないように、気を付けてください。

6 1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして にし、2 「次へ」の右の をクリックします。




注：画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に…」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

手順6の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の  をクリックしてください。

7 「次へ」の右の をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のヘルプを「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

手順8、9の画面は Windows XP Professional の場合のみ表示されます。Windows XP Home Edition の場合は表示されないので、手順10へ進んでください。

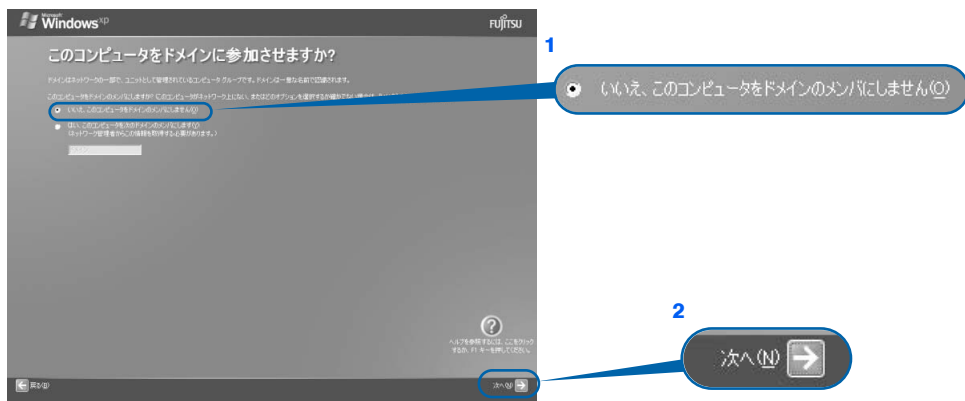
8 「次へ」の右の➡をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のヘルプを「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。



9 1「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバーにしません」の左が☑になっていることを確認し、2「次へ」の右の➡をクリックします。

ドメインの設定は後から行えます。詳しくは Windows のヘルプを「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。



10 「次へ」の右の▶をクリックします。



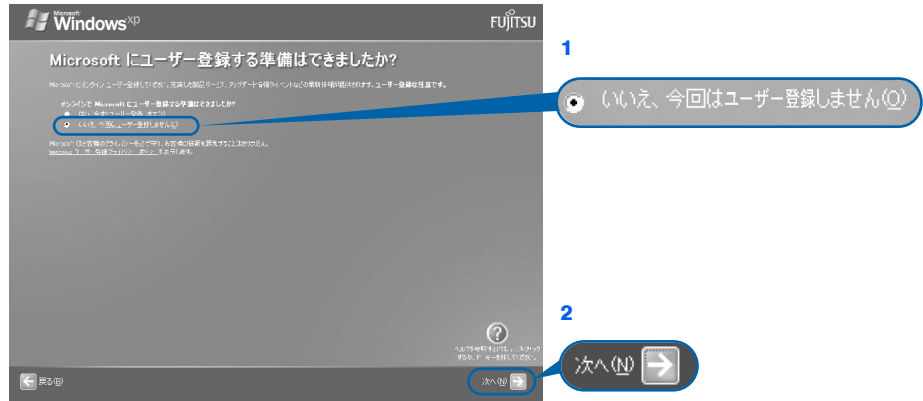
POINT

こんな画面が出た！

「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示された場合は、「省略」の右の▶をクリックします。

インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、『使いはじめガイド』→「パソコンで通信をする準備」をご覧ください。

11 1「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2「次へ」の右の▶をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の◀をクリックして、手順 11 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の▶をクリックします。

12 「完了」の右の➡をクリックします。



パソコンが再起動します。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

POINT

Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えるときがあります。これは画面のデザインであり故障ではありません。

「FMV」ロゴ入りの壁紙が表示された画面について

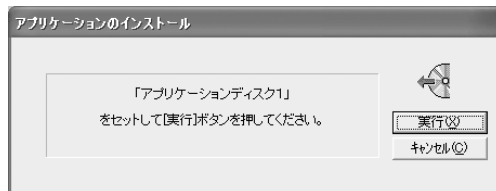
「FMV」ロゴ入りの壁紙が表示された画面では、画面がにじんだように見えるときがあります。これは壁紙のデザインであり故障ではありません。

「アプリケーションディスク 1」をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示された場合

ご購入後初めて電源を入れて Windows のセットアップを行っている場合は、このメッセージは表示されません。

メッセージが表示されない場合は、そのまま次の手順にお進みください。

☑『トラブル解決ガイド』をご覧になりリカバリ作業を行っている場合は、再起動後に「アプリケーションディスク 1」をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。

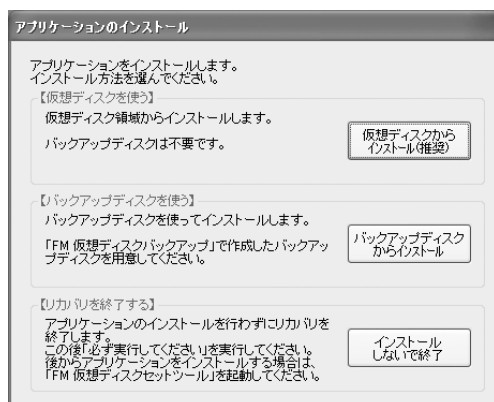


メッセージが表示された後の手順については、もう一度☑『トラブル解決ガイド』をご覧ください。

「アプリケーションのインストール」ウィンドウが表示された場合 (MG70G/ST をお使いの方)

ご購入後初めて電源を入れて Windows のセットアップを行っている場合は、このメッセージは表示されません。メッセージが表示されない場合は、そのまま次の手順にお進みください。

☑『トラブル解決ガイド』をご覧になりリカバリ作業を行っている場合は、再起動後に「アプリケーションのインストール」ウィンドウが表示されます。

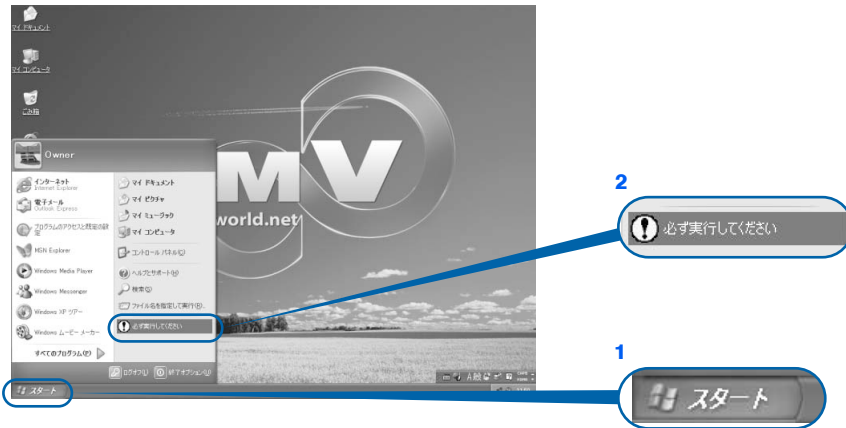


メッセージが表示された後の手順については、もう一度☑『トラブル解決ガイド』をご覧ください。

「必ず実行してください」の実行

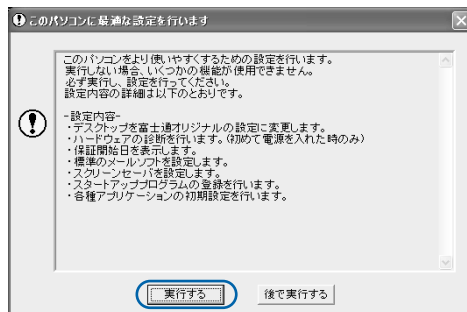
13 1 「スタート」ボタン→2 必ず実行してください の順にクリックします。

必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

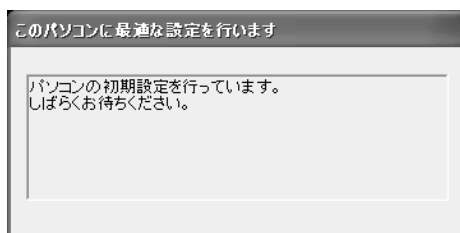


(これ以降の画面は状況により異なります)

14 「実行する」をクリックします。

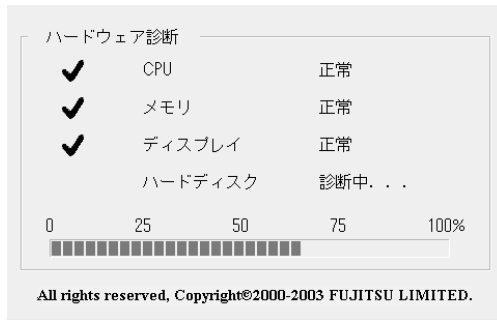


パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 15 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



15 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

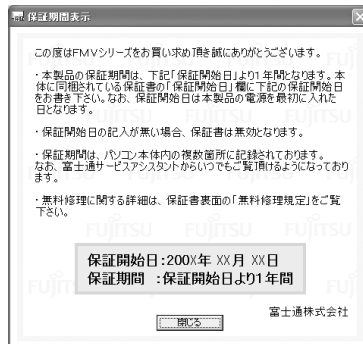
途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。



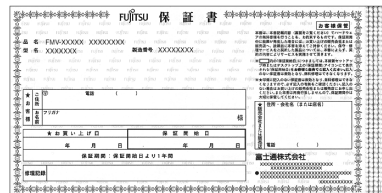
重要

ハードウェア不良の画面が表示された場合
画面の指示に従ってください。

16 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



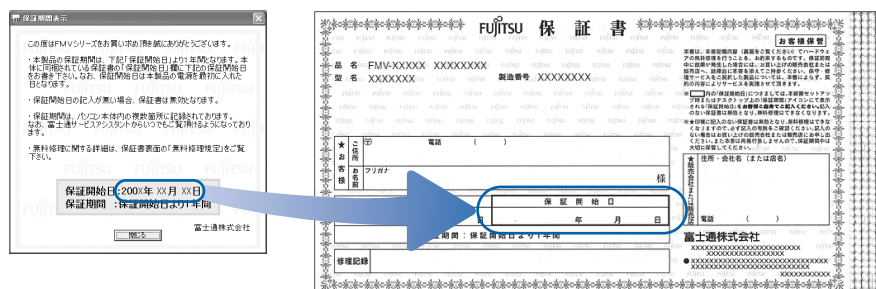
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



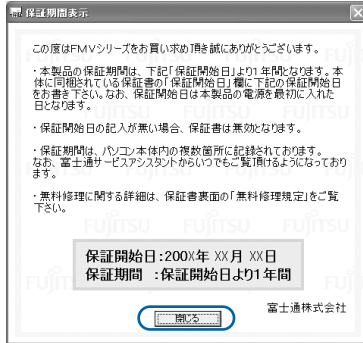
17 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります (なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります)。

保証書は大切に保管してください。

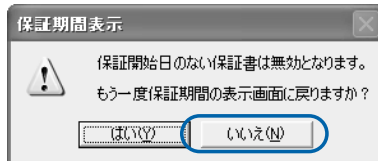


18 「閉じる」をクリックします。

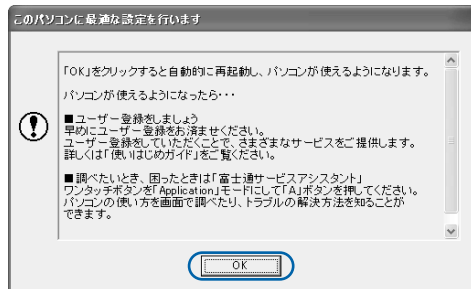


19 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



20 「OK」をクリックします。



注：機種や状況により、一部表示が異なります。

画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。

次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

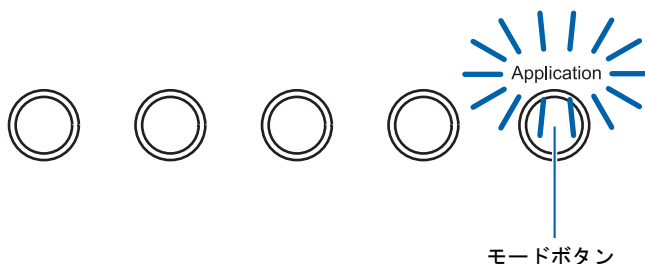
21 画面が表示されたことを確認します。



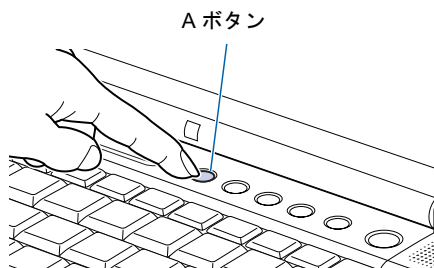
サービスアシスタントの起動・終了方法

サービスアシスタントは、パソコンの操作でわからないことがあったとき、困ったときにご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

22 モードボタンを何回か押して Application のランプを点灯させ、「Application」モード（▶P.24）にします。



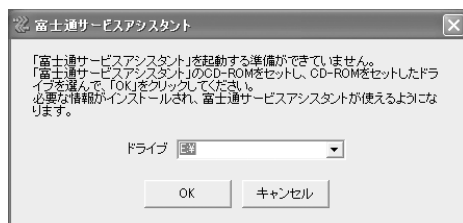
23 ワンタッチボタンの「A」ボタンを押します。



POINT

「「富士通サービスアシスタント」を起動する準備ができていません。」というメッセージが表示されたときは

このパソコンに添付されている⑧「富士通サービスアシスタント」のCD-ROMをセットし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

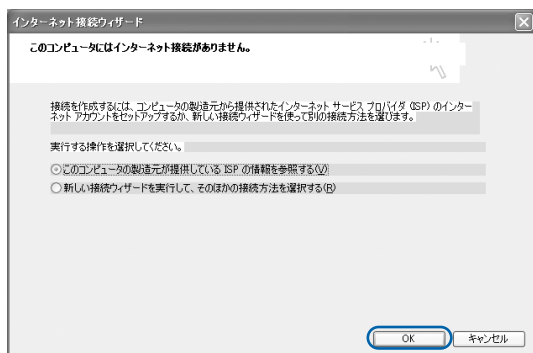


機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶P.26）をご覧ください。

24 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。



POINT

最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには、インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。セットアップが最後まで終わってから、『使いはじめガイド』→「パソコンで通信をする準備」をご覧になり、設定してください。

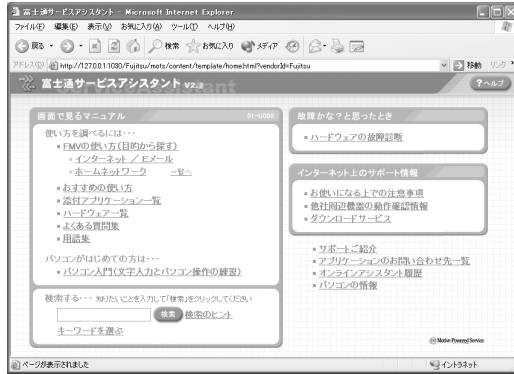
@nifty を紹介する画面が表示されます。@nifty に入会したい方は、『使いはじめガイド』をご覧になり、後で入会手続きを行ってください。



25 ウィンドウの右上にある をクリックします。



26 サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。「ヘルプ」をクリックすると詳しい使い方がわかります。

27 続けてセットアップを行うので、サービスアシスタントのトップ画面で をクリックし、サービスアシスタントを終了します。



POINT

この後、続けて操作を行ってください

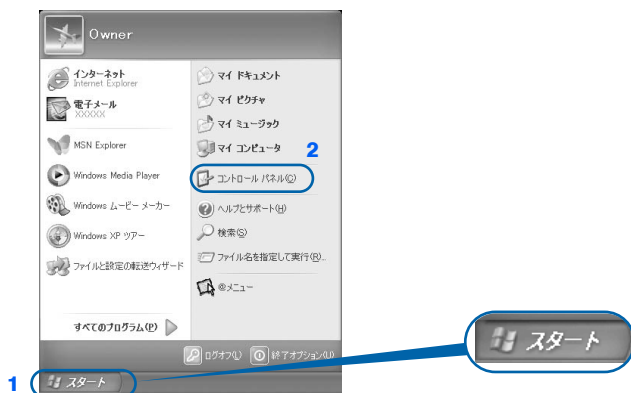
この後の所在地情報の設定は、インターネットに接続するときなどに必要になります。このまま手順を最後まで続けてください。

これ以降サービスアシスタントを起動するには

「Application」モードに切り替えた後、「A」ボタンを押してください。手順 24 ~ 25 の画面は、サービスアシスタントを初めて起動したときだけ表示されます。

所在地情報の設定

28 1「スタート」ボタン→2「コントロールパネル」の順にクリックします。

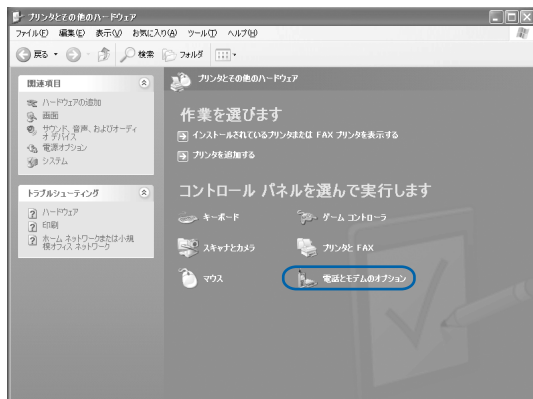


(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

29 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

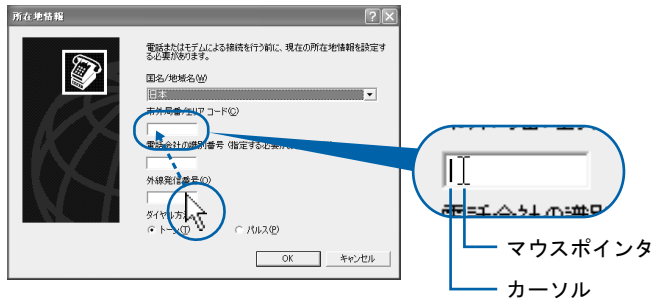


30 「電話とモデムのオプション」をクリックします。



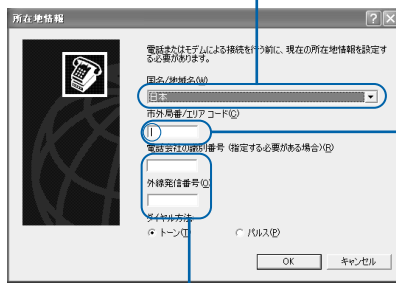
31 「市外局番」の下の空欄にマウスを合わせ、[I]に変わったらクリックします。

クリックすると文字を入力するためのカーソル（|）が点滅して表示されます。



32 パソコンをお使いになる場所の市外局番を入力します。

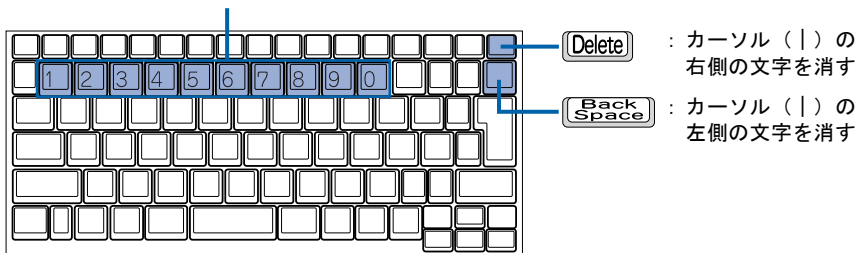
「日本」が表示されているか確認します。



カーソル（点滅している|）の位置に数字を入力します。
例えば、パソコンをお使いになる場所が東京23区なら、「03」と入力します。

ここには通常、何も入力しません。
外線発信番号は、会社やホテルなどから通信するときのみ必要です。

数字キーで入力します。



POINT

数字が入力できない場合

市外局番の欄にカーソル（|）が点滅していることを確認してください。
カーソル（|）がない場合は、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。

文字を消したい場合

カーソル（|）の左側の1文字を消すには：[Back Space] を押します。
カーソル（|）の右側の1文字を消すには：[Delete] を押します。

「入力した文字が無効です」と表示された場合

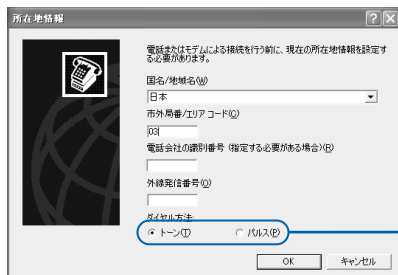
画面右下が [A] になっていない場合は、[キャンセル] を押します。

市外局番を入力せずに「OK」をクリックしてしまった場合

「電話とモデムのオプション」という画面が表示されます。「編集」をクリックし、市外局番を入力した後、次の手順に進んでください。手順34までは画面が異なりますが、手順に従って、該当する項目を操作してください。

電源を切らずに次のページへ

33 ダイヤル方法を設定します。



インターネットなどに使う電話回線のダイヤル方法を設定します。詳しくは、次のPOINTをご覧ください。
回線の種類がわからない場合は、「トーン」をクリックしてください。

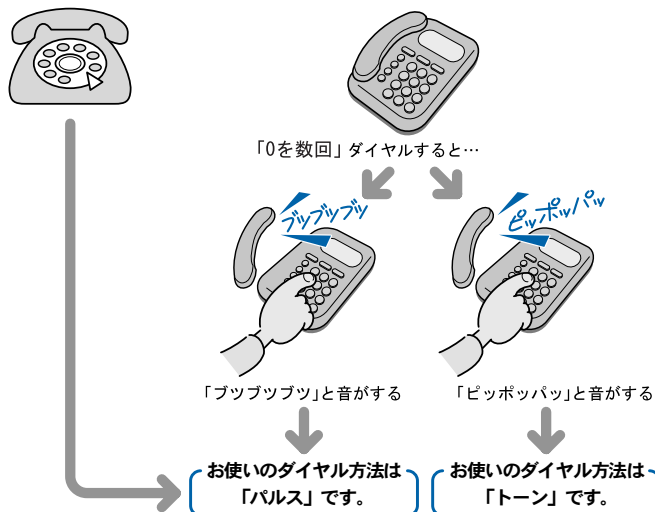
POINT

一般の電話回線を使う場合

ダイヤル方法は次の方法で確認します。

ダイヤル式電話機をお使いの場合

プッシュ式電話機をお使いの場合



ISDN 回線や携帯電話／PHS をお使いになる場合

ダイヤル方法は、「トーン」です。

どうしても電話回線のダイヤル方法がわからない場合

ご契約の電話会社に直接お問い合わせください。

なお、次のサービスをお使いの場合はうまく通信できないことがあります。

- ・ ホームテレホン
- ・ キャッチホン
- ・ ビジネスホン

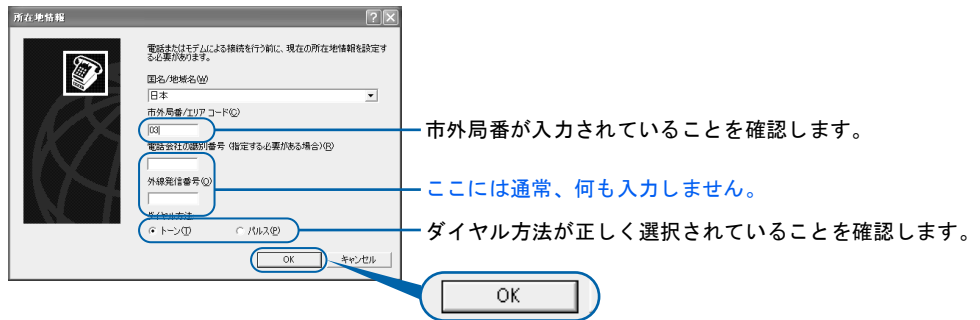
設定した市外局番や電話回線のダイヤル方法を変えたい場合

引っ越しなどで後から市外局番やダイヤル方法の設定を変えたいときは、次のように設定し直します。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」の順にクリックします。
3. 「ダイヤル情報」タブの設定を変更します。
4. 「OK」をクリックします。
5. 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの をクリックします。

34 正しく入力できているか確認し、「OK」をクリックします。

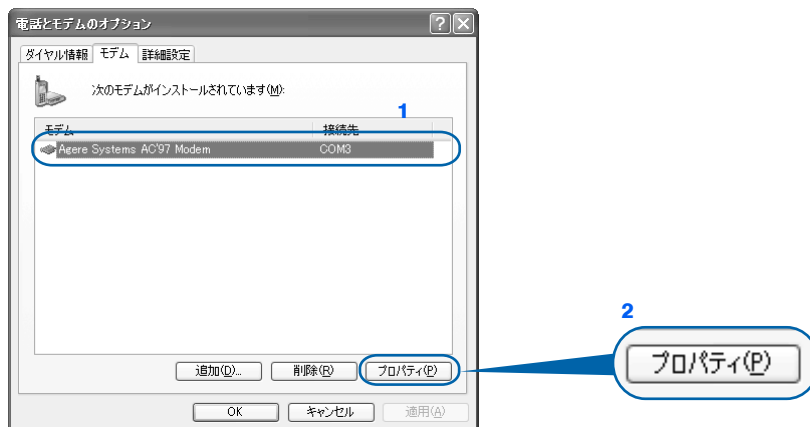
正しく入力されていないと、インターネットに接続できません。



35 「モデム」タブをクリックします。

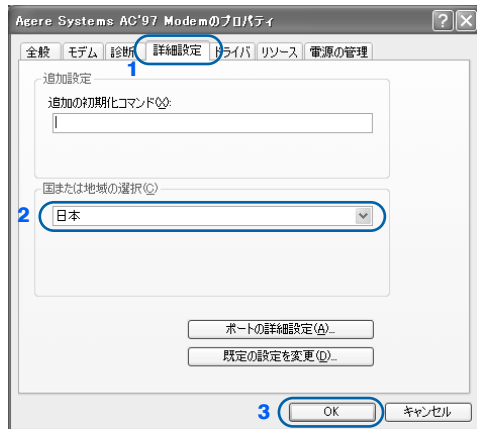


36 1 「Agere Systems AC'97 Modem」をクリックし、2 「プロパティ」をクリックします。

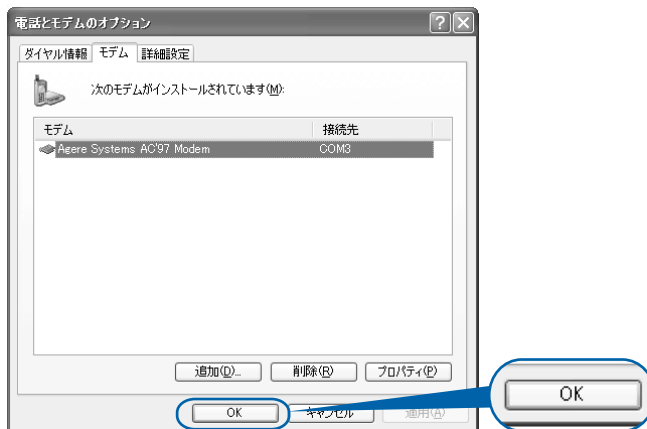


37 1「詳細設定」タブをクリックし、2「国または地域の選択」で、「日本」が表示されていることを確認し、3「OK」をクリックします。

「日本」が表示されていない場合は▼をクリックし、「日本」を選択します。



38 「OK」をクリックします。




39 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの をクリックします。



これで Windows のセットアップは終わりです。

POINT

アプリケーションを起動するには

アプリケーションは、@メニューから起動してください（@メニューには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないアプリケーションも登録されています）。詳しくは、『使いはじめガイド』→「FMV を使いはじめる前に知っておこう」→「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（●▶P.56）。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。



注意



けが ・ CD や DVD を取り出す場合は、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

電源を切る

必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。

1 それまで行っていた作業を終了します。

アプリケーションを起動している場合は、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了します。

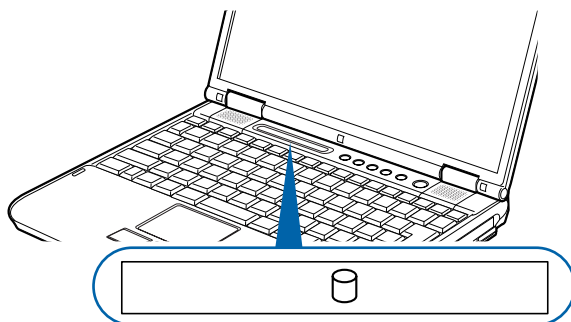
例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

アプリケーションを終了しなかった場合

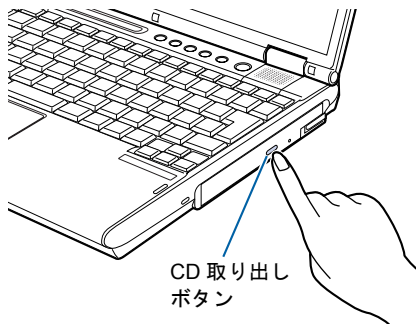
アプリケーションを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめアプリケーションを終了してください。

2 状態表示 LCD の などが点灯していないことを確認します。



状態表示 LCD

3 CD、DVD がセットされていたら取り出します。



3

POINT

CD や DVD を入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

4 「スタート」 ボタンをクリックします。



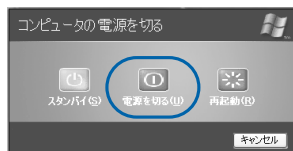
(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

5 「終了オプション」 をクリックします。



次のページへ

6 「電源を切る」をクリックします。



しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます（画像が暗くなり、状態表示 LCD の ① が消えます）。

POINT

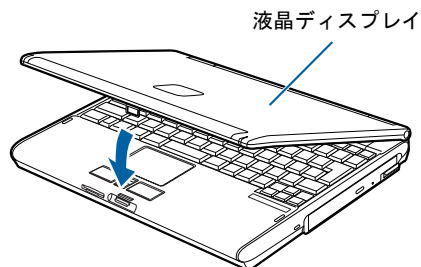
電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。

(Ctrl) と **(Alt)** を押しながら **(Delete)** を押してアプリケーションを強制終了し、その後で電源を切ってください。アプリケーションの強制終了については、『トラブル解決ガイド』→「Q&A 集」→「画面の表示がおかしい、操作ができないトラブル」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了もできないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

7 液晶ディスプレイを閉じます。



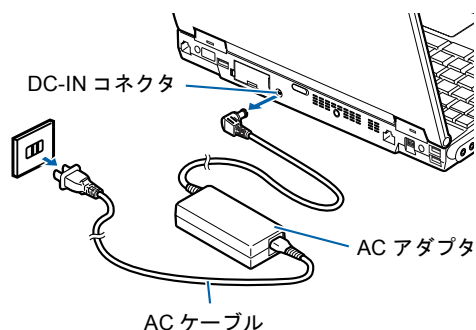
重要

液晶ディスプレイは静かに閉じてください

閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。


ACアダプタの取り外しについて

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、ACケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプタをDC-INコネクタから取り外します。



パソコン使用中にACアダプタを取り外すときの注意

パソコンを使っている途中でACアダプタを取り外し、バッテリーでパソコンを使うときは、バッテリーが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリーが充電されていない場合がありますので、ご注意ください。

確認方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「バッテリーで使う」→「バッテリー残量を確認する」をご覧ください。

パソコンを使っていないときにバッテリーを充電するには

パソコンを使っていないときにバッテリーを充電するには、電源を切った後、ACアダプタを取り付けたままにしてください。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう (▶▶P.60)。

電源を入れる

👉 重要

電源を入れるときの注意

- ・ 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・ パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。

バッテリーで使うときの注意

以下の場合、バッテリーが充電されていないことがあります。バッテリー残量を確認し、必要に応じてバッテリーを充電してください。

- ・ パソコンをご購入のとき
- ・ 約 1 ヶ月以上充電していないとき

バッテリー残量の確認方法については、🛠️ (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「基本機能」 → 「バッテリーで使う」をご覧ください。

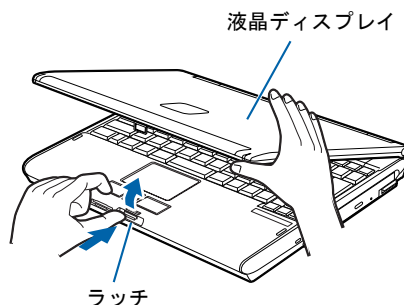
電源が入っているときは、こんな使い方はしないでください (放熱が妨げられます)

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「何もしない」に設定した場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。

詳しくは、🛠️ (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「各種設定」 → 「省電力機能を設定する」をご覧ください。

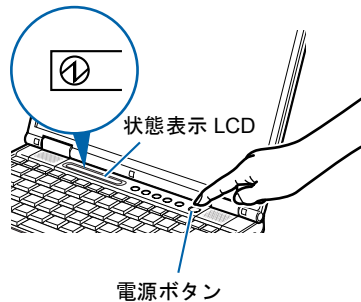
1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

2 電源ボタンを押します。



状態表示 LCD に ① が表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

重要

電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けると通常とは違う特別な働きをします（パソコンの電源が切れるので、作成中のデータが失われることがあります）。

3 このような画面が表示されたことを確認します。



（画面は機種や状況により異なります）

POINT

Windows が起動しない場合

バッテリー残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

- ・ AC アダプタを取り付けているとき
AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
「AC アダプタを接続する」(●▶P.32)
- ・ バッテリーで使うとき
バッテリーの残量が十分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『トラブル解決ガイド』→「Q & A 集」→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」をご覧ください。

3 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？


これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

- 1 「機種名を確認してください」 (●▶P.26)
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。
- 2 「使用上のお願い」 (●▶P.27)
このパソコンの取り扱いにあたっての、大切な注意事項です。確認してください。
- 3 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (●▶P.34)
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。
- 4 「電源の切り方と入れ方」 (●▶P.56)
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

重要

仮想ディスク領域をバックアップしてください (MG70G/ST をお使いの方)

MG70G/ST では、アプリケーションやシステムの再セットアップ用データを、CD/DVD を添付する代わりに仮想ディスクという形で、ハードディスクの保護された領域（仮想ディスク領域）に保存しています。ハードディスクが壊れるなどの不測の事態に備え、仮想ディスク領域にある仮想ディスクのバックアップディスクを必ず作成してください。バックアップディスクは、修理を依頼される時に必要になる場合があります。

作成方法については  『トラブル解決ガイド』 → 「仮想ディスク領域について」 → 「仮想ディスクをバックアップする」をご覧ください。

パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』をお読みください。このパソコンを使うための重要な情報や、インターネットの始め方などが紹介されています。

『使いはじめガイド』で紹介されている主な内容

第1章と第2章では、パソコンを使い始める前に確認していただきたいこと、覚えておくこと、便利なこと、わからないことがあったときの情報の探し方などを説明しています。



必ずお読みください

- 第1章 「FMV を使い始める前に知っておこう」
- 第2章 「マニュアルやサポートを使いこなそう」

目的に合わせてお読みください

- 第3章 「パソコンで通信をする準備」
- 第4章 「ユーザー登録をする」
- 第5章 「インターネットの始め方」
- 第6章 「ホームページを見る」
- 第7章 「Eメールを使う」
- 第8章 「バックアップする」
- 第9章 「パソコンの廃棄・リサイクルについて」

初めてインターネットに接続する前に

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。詳しくは『使いはじめガイド』→「FMV を使い始める前に知っておこう」→「セキュリティについて」をご覧ください。


ユーザー登録をする

ユーザー登録とは、FMV のユーザーとしてお客様の情報を弊社に登録していただくことを言います。ユーザー登録をしていただくと、さまざまなサービスをご利用いただけます。このパソコンでは、パソコンの画面上でユーザー登録ができます。ユーザー登録の詳しい操作手順については、『使いはじめガイド』→「ユーザー登録をする」をご覧ください。


パソコンの基本的な使い方を覚える

「パソコンを使うのは初めて」という方は、「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚えましょう。「パソコン入門」では、文字の入力方法や Windows の操作方法など、パソコンを使う上で必要なことを楽しく練習しながら覚えることができます。「パソコン入門」の詳しい操作方法については、『使いはじめガイド』→「マニュアルやサポートを使いこなそう」をご覧ください。

ファミリーネットワークステーション -T をお使いになる場合 (MG70G/ST のみ)

ファミリーネットワークステーション -T をお使いになるには、ファミリーネットワークステーション -T に梱包されている  『ファミリーネットワークステーション -T 準備と設定ガイド』をご覧ください。ファミリーネットワークステーション -T の設置と接続をしてください。

なお、このパソコンは最新の状態で出荷していますが、お客様にご購入いただくまでの間にも、新たなセキュリティの脆弱性やウィルスが出現している可能性があります。初めてインターネットに接続する前に、マニュアルの順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

詳しくは  『使いはじめガイド』 → 「FMV を使いはじめる前に知っておこう」 → 「セキュリティについて」 をご覧ください。

ワイヤレス LAN をお使いになる場合

MG70G/ST, MG70G, MG70GN の場合、ワイヤレス LAN の設定は固有のユーティリティを使用します。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。

ユーティリティを使用した設定方法については、ワイヤレス LAN に添付のマニュアルまたはパソコン本体の「画面で見るマニュアル」に登録されている「ワイヤレス LAN をお使いになる方へ」をご覧ください。

この後の章では、周辺機器の接続／設定 (●▶P.66) や、仕様一覧 (●▶P.82) などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

4

第4章

目的に合わせて接続／設定する

「周辺機器を取り付けたい」など、目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器（メモリなど）を取り付ける	66
2 モジュラーケーブルを接続する	70
3 MyMedia を使う	73
4 テレビを見る準備をする（MG70G/ST の場合）	74

1 周辺機器（メモリなど）を取り付ける

ここでは、メモリなどの周辺機器を取り付ける前に知っておいていただきたいことを説明しています。

POINT

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。



警告



感電

- ・ 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を入れたまま、または電源プラグを接続したままだと、感電・火災または故障の原因となります。



注意



故障

- ・ 周辺機器のケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- ・ 周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- ・ 周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします

純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。

純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

- ・ Windows のセットアップは終了していますか？

「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(●▶P.34) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。

なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けしないでください。セットアップが正常に行われないおそれがあります。

「FMV の使い方」をご覧ください

周辺機器の取り付け方は、「FMV の使い方」に記載されています。お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

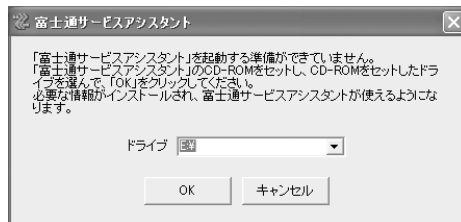
「FMV の使い方」は次の手順でご覧いただけます。

1 ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタン (▶P.24) を押します。

POINT

「富士通サービスアシスタント」を起動する準備ができていません。」というメッセージが表示されたときは

このパソコンに添付されている⑨「富士通サービスアシスタント」の CD-ROM をセットし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

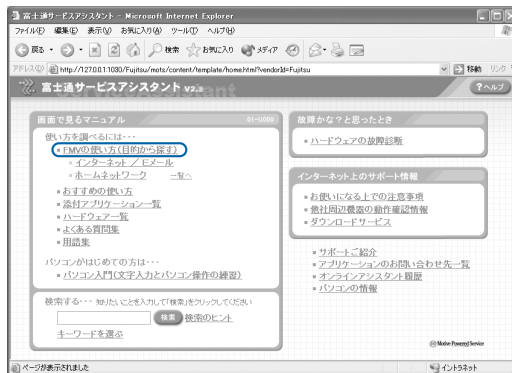


初めて起動すると

初めてサービスアシスタントを起動したときは「インターネット接続ウィザード」が表示されます。P.48 ~ の手順 24 ~ 27 をご覧になり、操作を行ってください。

サービスアシスタントが起動します。

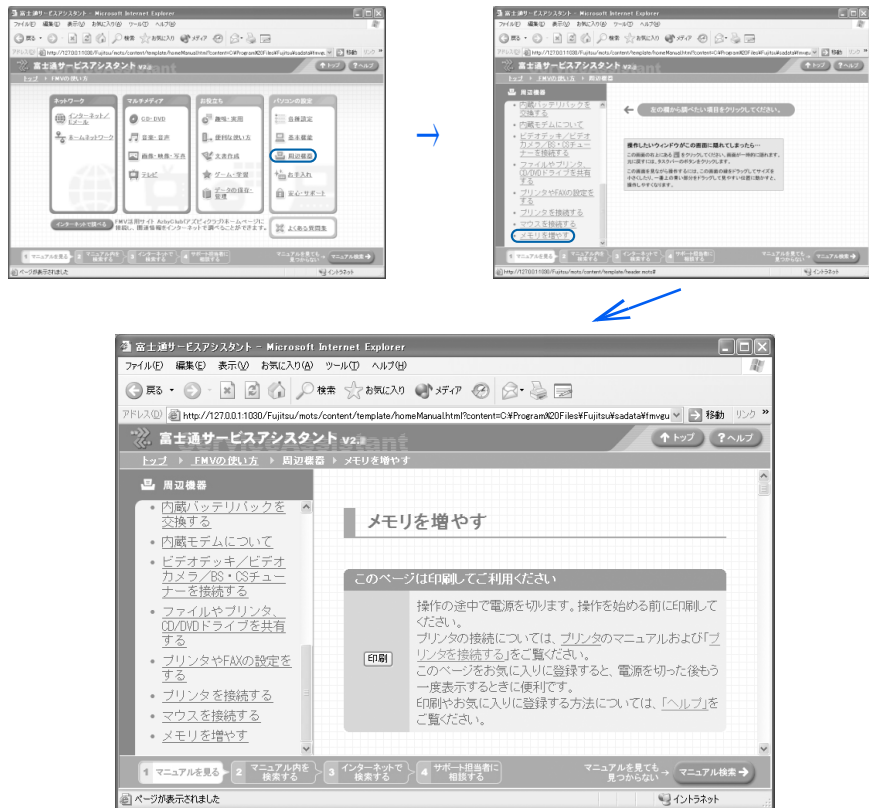
2 「FMV の使い方」をクリックします。



(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

3 「周辺機器」をクリックして、取り付けたい周辺機器を選択します。

例えば、メモリを増やす場合は、「周辺機器」→「メモリを増やす」の順にクリックします。



POINT


周辺機器によっては、印刷してご覧いただくものがあります

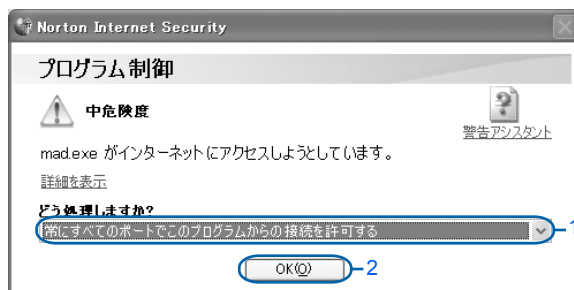
操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「FMVの使い方」の該当ページの先頭に「このページは印刷してご利用ください」と記載されています。操作を始める前に「FMVの使い方」をプリンタで印刷してご覧ください。

「mad.exe がインターネットにアクセスしようとしています。」または「jsharpde.exe がインターネットにアクセスしようとしています。」というメッセージが表示された場合

これら2つのウィンドウは、「Norton Internet Security」というアプリケーションの設定画面です。

表示されたプログラム (mad.exe、jsharpde.exe) は、富士通サービスアシスタントで使われており、セキュリティ上の問題はありません。画面が表示された場合には、次の設定を行ってください。

1.  をクリックし、「常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する」をクリックします。
2. 「OK」をクリックします。



Norton Internet Security については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート&サービスのご案内』→「アプリケーションのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

2 モジュラーケーブルを接続する

ここでは、モジュラーケーブルを接続する方法を紹介します。

重要

セキュリティ対策をしてください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。詳しくは『使いはじめガイド』→「FMV を使いはじめる前に知っておこう」→「セキュリティについて」をご覧ください。

確認する

モデム名

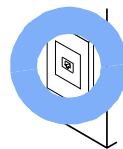
このパソコンの内蔵モデムは「Agere Systems AC'97 Modem」です。画面上でモデム名を選ぶ際は、このモデムを選んでください。

電話回線の差し込み口

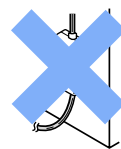
ローゼット式の場合は、モジュラー式の差し込み口への変更が必要です。

変更作業は、工事担当者またはその監督の下で行ってください。最寄りのNTTの営業所または支店へ変更工事を依頼することもできます。

モジュラー式



ローゼット式



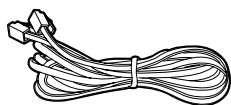
通信回線の種類

接続する前に、通信回線が一般の電話回線（アナログ）であることをNTTに確認してください。

必要なものを用意する

次のものを用意してください。

モジュラーケーブル（電話線）



接続する



警告



感電

- ・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電の恐れがあります。



注意



感電

- ・電話回線の差し込み口（モジュラージャック）に指などを入れないでください。感電の原因となることがあります。



故障

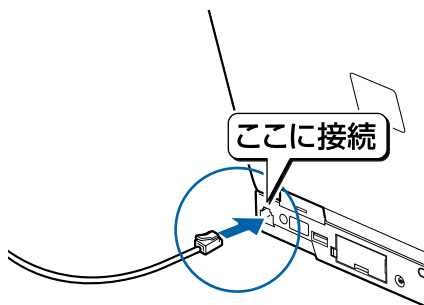
- ・モジュラーケーブルを接続する場合は、必ずモデムコネクタに接続してください。別のコネクタに接続すると故障の原因となることがあります。

4

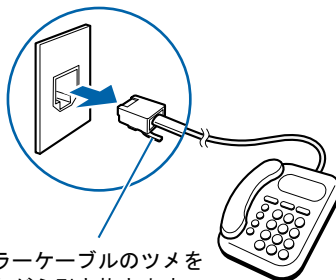
次の方法で添付のモジュラーケーブル（電話線）をパソコン本体に接続します。

1 添付のモジュラーケーブルを、パソコン本体背面にあるモデムコネクタに差し込みます。

コネクタの向きに注意して、カチッと音がするまで差し込んでください。



2 お使いになっている電話機のモジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口から外します。

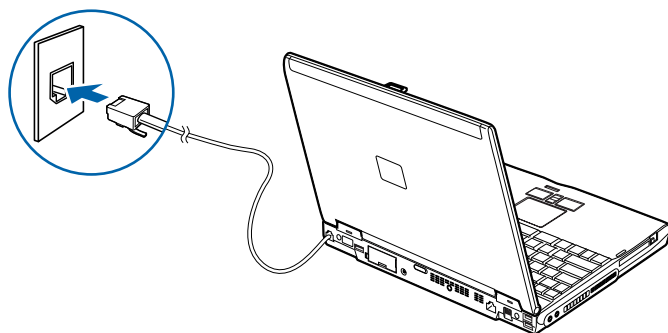


モジュラーケーブルのツメを押さえながら引き抜きます。

次のページへ

3 モジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口に接続します。

パソコン本体に接続したモジュラーケーブルの反対側を差し込みます。



POINT

インターネットをしている間は電話が使えません

インターネットをしている間は、電話機のモジュラーケーブルを取り外しているため、電話機が使えません。インターネットが終わったら、忘れずにモジュラーケーブルを差し替えてください。

キャッチホンを設定している場合

キャッチホンを設定している場合は、インターネットをしている間に電話がかかってくると、通信が切断されることがあります。

モジュラーケーブル使用上の注意

- ・モジュラーケーブルは家電製品などの近くを経由させたり束ねて利用したりすると、うまく通信できないことがあります。
- ・パソコンの設置場所が電話回線の差し込み口から遠く、添付のモジュラーケーブルでは長さが足りない場合、市販品をご購入ください。ただし、モジュラーケーブルを長くすると、回線速度が低下したり、うまく通信できないことがあります。

インターネットについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「インターネット／Eメール」をご覧ください。

3 MyMedia を使う

「MyMedia」は、音楽 CD や音楽ファイルの再生、画像や動画の再生を行うことができるアプリケーションです。リモコンが添付されている機種の場合、キーボードやマウスでの操作の他に、リモコンを使用して離れたところから操作することもできます。



(この画面は、機種や状況により異なります)

重要

「MyMedia」を使う前に

- ・「MyMedia」のアップデートを行ってください。「MyMedia」1.1 版および Readme が、「アプリケーションディスク 2」または「リカバリ起動 & ユーティリティディスク」の ¥update¥MyMedia にあります。
- ・ (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「添付アプリケーション一覧」 → 「MyMedia」 → 「重要」 → 「「MyMedia」を使うときの注意」をご覧ください。「MyMedia」を使用する上での注意事項が記載されています。

他のパソコンにファイルを公開する

ネットワークにつながった他のパソコンにも「MyMedia」がインストールされていれば、音楽、画像、動画などを公開してお互いのパソコンで見たり聞いたりすることができます。他のパソコンとネットワークを組む方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「基本機能」 → 「LAN を使う」をご覧ください。

重要

セキュリティ対策をしてください


このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続する前に、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。詳しくは『使いはじめガイド』 → 「FMV を使いはじめる前に知っておこう」 → 「セキュリティについて」をご覧ください。

公開する音楽、画像、動画ファイルを設定する

自分のパソコンの音楽、画像、動画ファイルをネットワーク上にある他のパソコンに公開するには、公開するフォルダの設定や、フォルダを公開するパソコンを設定する必要があります。それぞれの設定方法については、「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム」 → 「MyMedia」 → 「Manual」をご覧ください。



4 テレビを見る準備をする (MG70G/ST の場合)

ここでは、初めてテレビを見るときに行う準備について説明します。

ファミリーネットワークステーション-Tについては、『ファミリーネットワークステーション-T 準備と設定ガイド』をご覧ください。

準備の流れ

初めてテレビを見るときは、次の作業が必要です。

- 1 「リモコンを準備する」→▶P.76
- 2 「アンテナケーブルを接続する」→▶『ファミリーネットワークステーション-T 準備と設定ガイド』
- 3 「チャンネルを設定する」→▶ (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「テレビ」→「チャンネルを設定する」

必要なものを用意する

次のものを用意してください。

■ リモコン



■ 単3マンガン乾電池×2



■ リモコン受光器



重要

添付のリモコンを使用してください

本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。

アンテナケーブル類は添付していません

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。市販のものをご購入ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご購入ください。

アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

アンテナを接続するときはパソコンの電源を切ってください

パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

リモコンを準備する

ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

リモコンに乾電池を入れる



・乾電池を入れる場合、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

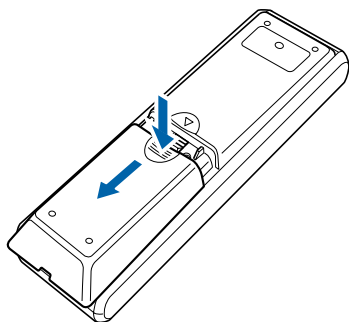
乾電池をお使いになる際は、「乾電池について」（▶P.14）も必ずご覧ください。



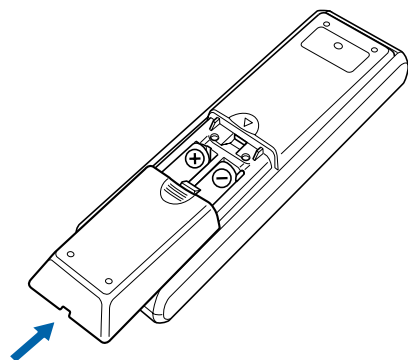
ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1. リモコンを裏返して電池のふたを開け、添付のマンガン乾電池を入れます。
乾電池の+、-を確かめて入れてください。



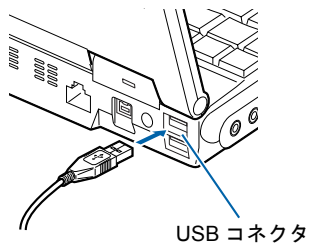
2. 電池のふたを閉めます。



リモコン受光器を接続する

ここでは、リモコン受光器をパソコン本体に接続する方法について説明します。

1. リモコン受光器をパソコン本体に接続します。



どの USB コネクタに接続しても構いません。



POINT

他の機器ではお使いになれません

リモコン受光器は、このパソコンおよび添付のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。

リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、以下の点にご注意ください。

- ・リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に (リモコンマネージャー) が表示されているか、確認してください。リモコンマネージャーについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「添付アプリケーション一覧」→「リモコンマネージャー」をご覧ください。
- ・信号が受けやすいように、リモコンをリモコン受光器の受光部に向けてください。
- ・リモコン受光器の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ・リモコンをプラズマディスプレイ／プラズマテレビの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。

これはプラズマディスプレイ／プラズマテレビから放射される赤外線により、リモコンとリモコン受光器の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。

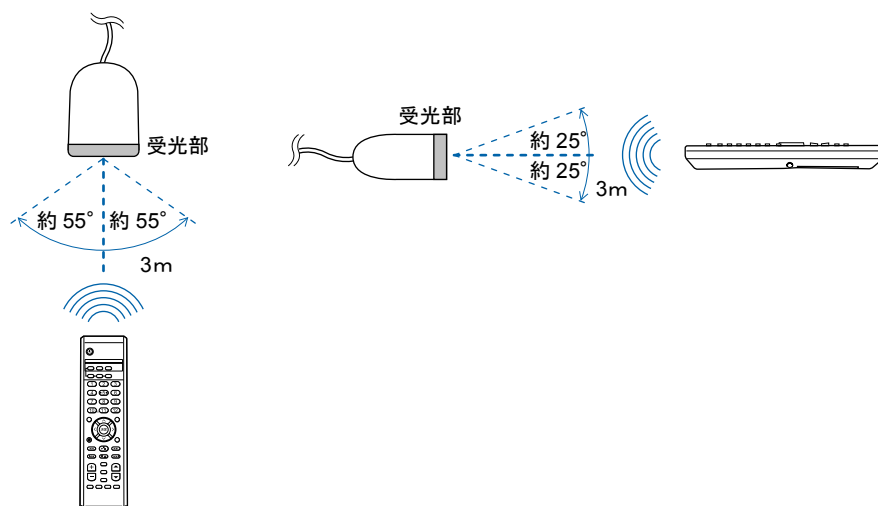
このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ／プラズマテレビの設置場所を変更してください。


- ・直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。

リモコン受光器の受光部使用可能範囲


水平 約 55° (左右共)

垂直 約 25° (上下共)




リモコンでできることについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「テレビ」→「リモコンについて」をご覧ください。

アンテナケーブルを接続する

アンテナケーブルを接続する方法については、『ファミリーネットワークステーション -T 準備と設定ガイド』をご覧ください。

チャンネルを設定する

アンテナケーブルの接続が完了したら、テレビのチャンネルを設定します。
チャンネルの設定方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「テレビ」→「チャンネルを設定する」をご覧ください。

なお、「FMV の使い方」には、パソコンでテレビを見たり、番組の録画をしたりする方法や、リモコンの各ボタンの名称と働きなども紹介されています。

テレビを見る時の注意

テレビを見るときには、次の点にご注意ください。

- ・ ご使用中は画面のプロパティの設定を変更しないでください。
- ・ メディアプレーヤーなど、他のアプリケーションと同時に使用しないでください。

Memo

5

第5章 付 録

1 仕様一覧	82
--------------	----

1 仕様一覧

パソコン本体

製品名称		FMV-BIBLO MG70G/ST	FMV-BIBLO MG75G	FMV-BIBLO MG70G
CPU 注1		インテル® Pentium® M プロセッサ 1.5GHz		
キャッシュメモリ		1次：64KB、2次：1MB (CPU 内蔵)		
チップセット		インテル® 855GME チップセット		
システム・バス		400MHz		
メインメモリ		標準 256MB (PC2700 DDR SDRAM) ECC なし 最大 2GB 注2	標準 512MB (PC2700 DDR SDRAM) ECC なし 最大 2GB 注2	標準 256MB (PC2700 DDR SDRAM) ECC なし 最大 2GB 注2
拡張メモリスロット		× 2 (空きスロット× 1)		
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵		
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) 注3		
	液晶ディスプレイ 注4	高輝度・低反射 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (スーパーファイン液晶)		
	解像度/発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット/1677 万色 注5 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット/最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット/1677 万色 注5		
フロッピーディスク ドライブ 注6		FDD ユニット (USB) (別売)		
ハードディスクドライブ 注7		60GB (Ultra ATA/100)	80GB (Ultra ATA/100)	60GB (Ultra ATA/100)
CD/DVD ドライブ 注8 注9		DVD マルチドライブ		
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック		
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応		
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート		
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵		
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)		
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン		
リモコン		リモコン、外付けリモコン 受光器 (USB) 標準添付	-	
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4 (モード切り替えボタン付)		
通信機能	モデム	データ：最大 56kbps (V.92 規格準拠) 注10 / FAX：14.4kbps		
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠		
	ワイヤレス LAN	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠		
ホームサーバー機能		ファミリーネットワーク ステーション -T (FMFNS-204) 添付 注11	-	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.90)

製品名称		FMV-BIBLO MG70G/ST	FMV-BIBLO MG75G	FMV-BIBLO MG70G
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)		
	SD カード/ メモリスティック ^{注12}	1 スロット		
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン×1 / S 端子変換ケーブル [FMV-NCBL2] (別売) S ビデオ (NTSC) × 1		
	USB ^{注13}	USB2.0 準拠× 3		
	IEEE1394 (DV) ^{注14}	4 ピン× 1 (S400)		
	モデム	RJ-11 × 1		
	LAN	RJ-45 × 1		
	オーディオ	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω) / 光デジタルオーディオ出力：丸形・光ミニジャック、 マイク：φ3.5mm ミニジャック (入力：100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)		
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示		
	モバイルマルチバイ	× 1 (専用コネクタ)		
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ~ 240V、出力 DC16V (3.75A)		
	バッテリー	内蔵バッテリーパック：リチウムイオン、10.8V / 4400mAh、 増設バッテリーパック (別売)：リチウムイオン、10.8V / 3400mAh		
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 ^{注15})		約 4.7 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 8.4 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)		
バッテリー充電時間 ^{注16}		約 4 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)		
消費電力 ^{注17}		約 22W / 約 61W		
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 ^{注18}		S 区分 0.00020		
外形寸法		W293.0 × D236.5 × H30.5 ~ 31.2 mm (突起部含まず)		
質量		約 1.63kg (モバイルマルチバイ用カバー搭載時) 約 1.86kg (内蔵 DVD マルチドライブユニット搭載時の場合)		
盗難防止用ロック		あり		
温湿度条件		温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)		
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注19} (DirectX 9.0b 対応)	Windows XP Professional ^{注19} (DirectX 9.0b 対応)	Windows XP Home Edition ^{注19} (DirectX 9.0b 対応)
サポート OS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional ^{注20}		

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.90)

製品名称		FMV-BIBLO MG50G
CPU 注1		インテル® Celeron® M プロセッサ 1.2GHz
キャッシュメモリ		1次：64KB、2次：512KB (CPU内蔵)
チップセット		インテル® 852GM チップセット
システム・バス		400MHz
メインメモリ		標準 256MB (PC2100 DDR SDRAM 注24) ECC なし 最大 1GB
拡張メモリスロット		× 2 (空きスロット× 1)
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) 注3
	液晶ディスプレイ 注4	高輝度・低反射 13.3型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (スーパーファイン液晶)
	解像度/発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット / 1677 万色 注5 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット / 最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット / 1677 万色 注5
フロッピーディスクドライブ 注6		FDD ユニット (USB) (添付)
ハードディスクドライブ 注7		40GB (Ultra ATA/100)
CD/DVD ドライブ 注8 注9		CD-RW/DVD-ROM ドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4 (モード切り替えボタン付)
通信機能	モデム	データ：最大 56kbps (V.92 規格準拠) 注10 / FAX：14.4kbps
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠
	ワイヤレス LAN	—
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード/ メモリスティック 注12	1 スロット
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 / S 端子変換ケーブル [FMV-NCBL2] (別売) S ビデオ (NTSC) × 1
	USB 注13	USB2.0 準拠× 3
	IEEE1394 (DV) 注14	4 ピン× 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 1
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	ヘッドホン：φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω) / 光デジタルオーディオ出力：丸形・光ミニジャック、 マイク：φ 3.5mm ミニジャック (入力：100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示
	モバイルマルチバイ	× 1 (専用コネクタ)
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ~ 240V、出力 DC16V (3.75A)
	バッテリー	内蔵バッテリーパック：リチウムイオン、10.8V / 4400mAh、 増設バッテリーパック (別売)：リチウムイオン、10.8V / 3400mAh

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.90)

製品名称	FMV-BIBLO MG50G
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 注 15)	約 3.8 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 7.0 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)
バッテリー充電時間注 16	約 4 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)
消費電力注 17	約 22W / 約 61W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率注 18	S 区分 0.00025
外形寸法	W293.0 × D236.5 × H29.6 ~ 31.0 mm (突起部含まず)
質量	約 1.59kg (モバイルマルチベイ用カバー搭載時) 約 1.81kg (内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブユニット搭載時の場合)
盗難防止用ロック	あり
温湿度条件	温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS	Windows XP Home Edition 注 19 (DirectX 9.0b 対応)
サポート OS	Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 20

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.90)

製品名称		FMV-BIBLO MG70GN
CPU 注1		インテル® Pentium® M プロセッサ 1.5GHz
キャッシュメモリ		1次：64KB、2次：1MB (CPU内蔵)
チップセット		インテル® 855GME チップセット
システム・バス		400MHz
メインメモリ		標準 256MB (PC2700 DDR SDRAM) ECC なし 最大 2GB 注2 注22
拡張メモリスロット		× 2 (空きスロット× 1) 注21
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) 注3
	液晶ディスプレイ 注4	高輝度・低反射 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (スーパーファイン液晶)
	解像度/発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット/1677 万色 注5 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット/最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット/1677 万色 注5
フロッピーディスク ドライブ 注6		FDD ユニット (USB) (別売)
ハードディスクドライブ 注7		60GB (Ultra ATA/100) 注23
CD/DVD ドライブ 注8 注9		DVD マルチドライブまたは CD-RW/DVD-ROM ドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン
リモコン		—
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4 (モード切り替えボタン付)
通信機能	モデム	データ：最大 56kbps (V.92 規格準拠) 注10 / FAX：14.4kbps
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠
	ワイヤレス LAN	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠
ホームサーバー機能		—
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード/ メモリースティック 注12	1 スロット
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 / S 端子変換ケーブル [FMV-NCBL2] (別売) S ビデオ (NTSC) × 1
	USB 注13	USB2.0 準拠× 3
	IEEE1394 (DV) 注14	4 ピン× 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 1
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	ヘッドホン：φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω) / 光デジタルオーディオ出力：丸形・光ミニジャック、 マイク：φ 3.5mm ミニジャック (入力：100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示
	モバイルマルチベイ	× 1 (専用コネクタ)
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ~ 240V、出力 DC16V (3.75A)
	バッテリー	内蔵バッテリーパック：リチウムイオン、10.8V / 4400mAh、 増設バッテリーパック (別売)：リチウムイオン、10.8V / 3400mAh

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.90)

製品名称	FMV-BIBLO MG70GN
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 注 15)	約 4.7 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 8.4 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)
バッテリー充電時間注 16	約 4 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)
消費電力注 17	約 22W / 約 61W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率注 18	S 区分 0.00020
外形寸法	W293.0 × D236.5 × H30.5 ~ 31.2 mm (突起部含まず)
質量	約 1.63kg (モバイルマルチベイ用カバー搭載時) 約 1.86kg (内蔵 DVD マルチドライブユニット搭載時の場合) 約 1.85kg (内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブユニット搭載時の場合)
盗難防止用ロック	あり
温湿度条件	温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH 非動作時 (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS	Windows XP Professional 注 19 (DirectX 9.0b 対応) または Windows XP Home Edition 注 19 (DirectX 9.0b 対応)
サポート OS	Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 20

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.90)

製品名称		FMV-BIBLO MG50GN
CPU 注1		インテル® Celeron® M プロセッサ 1.2GHz
キャッシュメモリ		1次：64KB、2次：512KB (CPU内蔵)
チップセット		インテル® 852GM チップセット
システム・バス		400MHz
メインメモリ		標準 256MB (PC2100 DDR SDRAM 注24) ECC なし 最大 1GB 注22
拡張メモリスロット		× 2 (空きスロット× 1) 注21
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) 注3
	液晶ディスプレイ注4	高輝度・低反射 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (スーパーファイン液晶)
	解像度/発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット/1677 万色注5 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット/最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット/1677 万色注5
フロッピーディスクドライブ注6		FDD ユニット (USB) (添付)
ハードディスクドライブ注7		60GB (Ultra ATA/100) 注23
CD/DVD ドライブ注8注9		DVD マルチドライブまたは CD-RW/DVD-ROM ドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コードデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4 (モード切り替えボタン付)
通信機能	モデム	データ：最大 56kbps (V.92 規格準拠) 注10 / FAX：14.4kbps
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠
	ワイヤレス LAN	—
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード/ メモリスティック注12	1 スロット
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 / S 端子変換ケーブル [FMV-NCBL2] (別売) S ビデオ (NTSC) × 1
	USB 注13	USB2.0 準拠× 3
	IEEE1394 (DV) 注14	4 ピン× 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 1
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	ヘッドホン：φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω) / 光デジタルオーディオ出力：丸形・光ミニジャック、 マイク：φ 3.5mm ミニジャック (入力：100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示
	モバイルマルチベイ	× 1 (専用コネクタ)
電源供給方式	ACアダプタ	ACアダプタ入力 AC100V ~ 240V、出力 DC16V (3.75A)
	バッテリー	内蔵バッテリーパック：リチウムイオン、10.8V / 4400mAh、 増設バッテリーパック (別売)：リチウムイオン、10.8V / 3400mAh

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」 (**▶P.90)

製品名称	FMV-BIBLO MG50GN
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 注 15)	約 3.8 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 7.0 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)
バッテリー充電時間注 16	約 4 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリーパック)
消費電力注 17	約 22W / 約 61W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率注 18	S 区分 0.00025
外形寸法	W293.0 × D236.5 × H29.6 ~ 31.0 mm (突起部含まず)
質量	約 1.59kg (モバイルマルチベイ用カバー搭載時) 約 1.81kg (内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブユニット搭載時の場合) 約 1.82kg (内蔵 DVD マルチドライブユニット搭載時の場合)
盗難防止用ロック	あり
温湿度条件	温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS	Windows XP Home Edition 注 19 (DirectX 9.0b 対応)
サポート OS	Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 20

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」 (** ▶ P.90)

仕様一覧の注記について

- 注 1 アプリケーションによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2 2GB のメモリ容量にするには、搭載済のメモリをすべて取り外し、拡張 RAM モジュール -1GB を 2 枚取り付ける必要があります。
- 注 3 Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) により、パソコンの動作状態によって VRAM 容量が変化します。
- 注 4
- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - ・表示する条件によってはムラおよび微小な斑点が目立つことがあります故障ではありません。
- 注 5 グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。また、外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。
- 注 6 フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD (1.44MB, 1.2MB) と 2DD (720KB) です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。
- 注 7 容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算値です。
- 注 8 モバイルマルチベイに搭載しています。各ドライブの主な仕様は次の通りです。

DVD マルチドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 8 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 DVD-RAM 書込書換：最大 2 倍速、DVD-R 書込：最大 2 倍速、 DVD-RW 書込書換：最大 1 倍速
CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速

- 注 9 オプションで「増設用内蔵バッテリーユニット」を搭載可能です。
- 注 10 56000bps は V.92 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。V.92 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。
- 注 11 ファミリーネットワークステーション -T をお使いになるには、ファミリーネットワークステーション -T に梱包されている『ファミリーネットワークステーション -T 準備と設定ガイド』をご覧ください。
- 注 12
- ・SD メモリーカードとメモリースティックの同時使用はできません。
 - ・すべての SD メモリーカード/メモリースティックの動作を保証するものではありません。
 - ・マジックゲートなどの著作権保護機能には対応していません。
 - ・マルチメディアカード (MMC) やセキュアマルチメディアカードには対応していません。
- 注 13 すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
- 注 14 すべての IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
- 注 15 社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver1.0)』 (<http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html>)。なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。
- 注 16 電源 OFF またはスタンバイ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。
- 注 17
- ・動作時の最小消費電力 (Windows 起動直後の消費電力) / 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。
 - ・電源 OFF 時の消費電力は、約 1W 以下 (満充電時) です。
 - ・なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 注 18 スタンバイ時 (充電なし。AC アダプタを含む)。なお、エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 注 19 出荷時に Service Pack1a が適用されています。
- 注 20 Service Pack1a が適用されている必要があります。
- 注 21 ご購入時の選択によっては、空きスロットがない場合もあります。
- 注 22 ご購入時の選択によっては、512MB、1GB の場合もあります。
- 注 23 ご購入時の選択によっては、80GB の場合もあります。
- 注 24 PC2700 DDR SDRAM-DIMM も使用できますが、実動作は PC2100 として動作します。

リモコン

通信方式	赤外線方式	
使用可能距離	3m	
乾電池の寿命の目安	約6ヶ月（マンガン乾電池使用時）	
使用可能範囲	水平	右：約55° / 左：約55°
	垂直	上：約25° / 下：約25°
使用電池	単3形乾電池2本	

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！



(サービスアシスタント)のトップ画面 →

キーワードを選ぶ

検索

索引

A	SD カードスロット	18
AC アダプタ	S ビデオ端子	21
- 接続する		
- 表示	U	
AC ケーブル	USB コネクタ	21, 77
「Application」モード	W	
A ボタン	Windows	34
B	- 使用許諾契約書	38
B ボタン	- セットアップ	34
C	あ行	
Caps Lock 表示	アプリケーション	
CD アクセス表示	- 起動する	55
CD 取り出しボタン	液晶ディスプレイ	18
D	か行	
DC-IN コネクタ	カーソル	51
E	外部ディスプレイコネクタ	21
E-mail ボタン	拡張 RAM モジュールスロット	22
F	各部名称	17
FMV の使い方	- 状態表示 LCD	23
	- パソコン本体下面	22
	- パソコン本体上面	19
	- パソコン本体前面	18
	- パソコン本体側面	20
	- パソコン本体背面	21
	- ワンタッチボタン	24
I	乾電池	76
IEEE1394 (DV) 端子	- について	14
Internet ボタン	キーボード	18
L	機種名	26
LAN コネクタ	吸気孔	20, 21
M	クリック	36
MyMedia	さ行	
N	サービスアシスタント	47, 67
Num Lock 表示	周辺機器を取り付ける	66
P	受光部	78
PC カード	仕様	
- アクセス表示	- パソコン本体	82
- スロット	- リモコン	91
- 取り出しボタン	状態表示 LCD	18, 23
「Player」モード	スピーカー	18
S	セットアップ	34
Scroll Lock 表示	た行	
	ダイヤル方法	52
	デジタルカメラ	66

電源	
- 入れる	32, 60
- 切る	56
- 切れない場合	58
電源表示	23
電源ボタン	18
電話回線	
- 種類	52
- 接続	71
電話線	70
盗難防止用ロック	20
トーン	52

な行

内蔵バッテリーパック	22
------------	----

は行

ハードディスクアクセス表示	23
排気孔	20
初めて電源を入れる	34
バッテリー	
- 残量表示	23
- 充電表示	23
- 装着表示	23
- 使うときの注意	60
パルス	52
光デジタルオーディオ出力端子	20
ビデオ出力端子	21
品名	26
フラットポイント	18
プリンタ	66
ベイユニット取り外しレバー	20
ヘッドホン端子	20
保証書	29, 44

ま行

マイク端子	20
マウスポインタ	51
メール着信ランプ	24
メモリ	66
メモリー スティックスロット	18
モードボタン	24
モジュラーケーブル	70
モデム	70
モデムコネクタ	21
モバイルマルチベイ	20

ら行

ラッチ	18
-----	----

わ行

ワイヤレス LAN アンテナ	19
ワイヤレススイッチ	21
ワンタッチボタン	18, 24

Memo

FMV-BIBLO MG70G/ST, MG75G, MG70G,
MG50G, MG70GN, MG50GN

パソコンの準備

B6FH-0711-02-00

発行日 2004年1月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。



<http://azby.fmworld.net/>

FMV活用サイト アズビィクラブホームページ

FUJITSU



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆インキで印刷しています。



本製品はJEITA「PCグリーンラベル制度」の
審査基準(2003年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト <http://www.jeita.or.jp>
をご覧ください。



T 4988618884884